


応用操作編

電話機能を利用する	140
音の設定を変更する	163
ディスプレイの表示やボタンの設定などを変更する	170
携帯電話の操作を制限する	193
アラームで通知できる機能を利用する	209
便利なツールを利用する	234
その他の機能を利用する	239
マルチアクセス・マルチタスク	263

呼び出しを開始するまでの時間を設定します

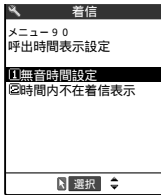
お買い上げ時 無音時間設定：0秒 時間内不在着信表示：表示する

電話帳に登録されていない電話番号から着信があった場合、着信があった時点から呼び出し動作を開始する(着信を知らせる)までの無音時間を設定します。呼び出し動作を開始しなかった着信を不在着信履歴に表示しないように設定できるので、呼出時間が短い迷惑電話などに対して着信履歴からの誤った発信を防ぐことができます。

着信があった時点から「無音時間設定」で設定した時間が経過するまで着信画面は表示されます。それ以外の呼出動作(着信音鳴動、パイプレータ、着信ランプの点灯)は行いません。ただし、呼び出しが始まる前にを押すと、電話に出ることができます。

1   「着信」▶「呼出時間表示設定」の順に選ぶ

2 設定したい項目を選ぶ



呼び出し動作を開始するまでの無音時間を設定する場合

「無音時間設定」を選ぶ

無音時間を0～99秒の範囲で設定します。時間は2桁で入力してください。

呼び出し動作を開始しなかった着信を不在着信履歴に表示するかしないかを設定する場合

「時間内不在着信表示」を選ぶ

不在着信履歴の表示を「表示する / 表示しない」から選びます。

おしらせ

着信を制限する機能を同時に設定したときの優先順位は次のとおりです。 が最も優先度が高くなります。

- ・相手が電話番号を通知してきた場合
 - 迷惑電話ストップサービス
 - 指定着信拒否 / 指定着信許可 / 登録外着信拒否
 - ドライブモード
 - 呼出時間表示設定
- ・相手が電話番号を通知してこなかった場合
 - 迷惑電話ストップサービス
 - 非通知着信設定
 - ドライブモード
 - 呼出時間表示設定

電話帳指定設定

電話番号ごとに着信や発信を制限します

お買い上げ時 すべて解除

私用電話を防止したり、迷惑電話を防止するために、電話帳に登録されている電話番号ごとに電話の発信や着信を制限できます。

設定できる機能は次のとおりです。

	目的	機能名	機能
発信制限	私用電話を防止する	指定発信制限	指定した電話番号のみ、電話をかけることができます。
着信制限	迷惑電話を防止する	指定着信拒否	指定した電話番号からの電話のみ、受けないようにします。 テレビ電話および64Kデータ通信の着信も有効になります。
		指定着信許可	指定した電話番号からの電話のみ、受けるようにします。 テレビ電話および64Kデータ通信の着信も有効になります。
	特定の電話番号からの電話を転送したり留守番電話にする	指定転送でんわ	「転送でんわ」を「開始」に設定していなくても、指定した電話番号からの電話を自動で転送できるようにします。 テレビ電話がかかってきた場合は、転送先を3G-324M(P.87)に準拠したテレビ電話に設定していないと接続されません。
		指定留守番電話	「留守番電話」を「開始」に設定していなくても、指定した電話番号からの電話を自動で留守番電話サービスセンターに接続できるようにします。 テレビ電話がかかってきた場合は、留守番電話サービスセンターに接続されず、テレビ電話の着信が継続されます。

電話番号はそれぞれ20件まで指定できます。

FOMAカードに登録されている電話帳には設定できません。

相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」(P.286) および「非通知着信設定」(P.145)も合わせて設定することをおすすめします。

同じ電話番号に対して指定着信拒否と指定着信許可、または指定転送でんわと指定留守番電話を同時に設定することはできません。

「シークレットモード」、「シークレット専用モード」で登録した電話帳には設定できません。

指定した電話帳の電話番号を変更したり削除すると、電話帳指定設定の各機能は解除されます。ただし、「指定発信制限」を設定した場合、電話帳の電話番号を変更したり削除することはできません。

電話番号に発信 / 着信制限機能を設定します

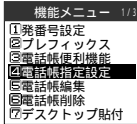
電話帳に登録されている電話番号に発信制限や着信制限を設定する方法は共通です。

1

設定したい電話帳の詳細画面を表示する

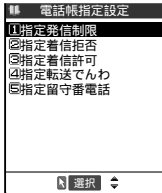
電話帳の検索のしかた P.116


2 機能メニューから「電話帳指定設定」を選んで端末暗証番号を入力する




端末暗証番号について P.193


3 設定したい機能を選ぶ





設定した機能には「」がつきます。


設定されている機能を解除する場合

「」がついている機能を選ぶ

機能が解除されて「」が消えます。

複数の電話番号に発信制限／着信制限の各機能を設定したい場合

を押して電話帳の詳細画面に戻り、を押して設定したい電話番号を表示させて操作2～3を行う

を押して待受画面に戻ると、電話帳指定設定の追加設定ができなくなります。追加設定をする場合は、すでに設定されている電話番号の電話帳指定設定を解除し、解除した電話番号も含めてもう一度設定し直してください。

おしらせ

< 指定発信制限 >

指定発信制限を設定すると、電話帳の登録、修正、FOMA端末(本体)とFOMAカード間でのコピー、「FOMAカード操作」での電話帳の操作、および指定した電話番号を含むすべてのダイヤル発信、着信履歴からの発信ができなくなります。

指定発信制限を設定すると、「発信履歴」、「リダイヤル」は削除されます。ただし設定後にかけた電話は、「発信履歴」、「リダイヤル」に記憶されます。

指定発信制限と同時に「オート表示(P.125)をご利用になる場合は、「オート表示」に指定している電話帳に本機能を設定してください。

指定発信制限はパソコンなど外部機器からの発信時には無効になる場合があります。

指定発信制限設定中でも、緊急通報番号(110番、119番、118番)には電話をかけることができます。

< 指定着信拒否 / 指定着信許可 >

指定着信拒否および指定着信許可は相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効になります。「番号通知お願いサービス(P.286)」と「非通知着信設定(P.145)」を合わせて設定することをおすすめします。

指定着信拒否および指定着信許可は64Kデータ通信『アプリケーション編』のP.384)の着信時にも有効になります。

iモードメールやSMSは、本機能に関係なく受信されます。

「PIMロック(P.204)」を設定している場合、指定着信拒否および指定着信許可は無効になります。

指定着信拒否を設定した電話番号および指定着信許可を設定した以外の電話番号から電話がかかってきた場合、「着信履歴(P.151)」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。

指定着信拒否を設定した電話番号および指定着信許可を設定した以外の電話番号から電話がかかってきた場合、「留守番電話サービス(P.273)」や「転送でんわサービス(P.278)」を「開始」に設定していても着信を拒否します。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定している場合やサービスエリア外、電源が入っていない場合は、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」になります。この場合、かかってきた電話番号は「着信履歴」に記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも待受画面に表示されませんのでご注意ください。

< 指定転送でんわ / 指定留守番電話 >



「PIMロック」を設定している場合、指定転送電話および指定留守番電話は無効になります。

指定した電話番号から電話がかかってきたときは、着信音を約1秒間鳴らしてから転送先に転送または留守番電話サービスセンターに接続します。「着信履歴(P.151)」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。「キャッチホン」、「着信動作選択」よりも優先して動作しますのでご注意ください。

転送先が未設定の場合、「転送でんわサービス」または「留守番電話サービス」が未契約の場合は、指定した電話番号からかかってきた電話は不在着信となります。

電話帳指定設定の設定状況を確認めます

「電話帳指定設定」を設定している電話番号を各機能ごとに確認できます。また、確認しながらそれぞれの設定を解除することもできます。

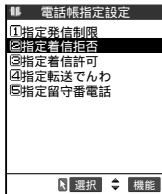
1   「電話帳指定設定」の順に選んで、端末暗証番号を入力する

端末暗証番号について P.193

設定されている電話番号がない場合

設定されている電話番号がないことを通知するメッセージが表示されます。

2 「 」がついている機能を選ぶ

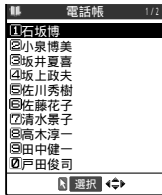


選んだ機能が設定されている電話帳の一覧画面が表示されます。

機能の設定をまとめて解除する場合

「 」がついている機能を反転表示して機能メニューから「設定解除」を選ぶ

3 電話番号を確認したい電話帳を選ぶ



選んだ電話帳の電話番号が表示されます。

電話帳指定設定を解除する場合

解除したい電話番号を選ぶ

登録外着信拒否

電話帳に登録していない電話番号からの着信を拒否します

お買い上げ時 許可

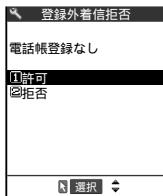
FOMA端末(本体)およびFOMAカードの電話帳に登録されていない電話番号からの着信を拒否するように設定できます。

相手が電話番号を通知していない場合、または「PIMロック」を設定している場合、本機能は無効となります。

1



「ロック/セキュリティ」▶「登録外着信拒否」の順に
選んで、端末暗証番号を入力する



端末暗証番号について P.193

電話帳に登録されていない電話番号からの着信を許可する場合
「許可」を選ぶ

電話帳に登録されていない電話番号からの着信を拒否する場合
「拒否」を選ぶ

お知らせ

本機能を「拒否」に設定しているときに、電話帳に登録されていない電話番号から電話がかかってきた場合、「着信履歴」(P.151)には「不在着信履歴」として記憶され、待受画面には「不在着信あり」のデスクトップアイコンが表示されます。

着信を制限する機能を同時に設定した場合の優先順位は次のとおりです。 が最も優先度が高くなります。

- ・相手が電話番号を通知してきた場合
 - 迷惑電話ストップサービス
 - 指定着信拒否 / 指定着信許可 / 登録外着信拒否
 - ドライブモード
 - 呼出時間表示設定
- ・相手が電話番号を通知してこなかった場合
 - 迷惑電話ストップサービス
 - 非通知着信設定
 - ドライブモード
 - 呼出時間表示設定

非通知着信設定

電話番号を通知しない着信を拒否します

お買い上げ時 すべて許可 / 通常着信音と同じ

電話番号を通知してこない電話番号からの着信拒否を、非通知理由ごとに設定できます。

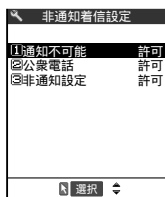
1



「ロック/セキュリティ」▶「非通知着信設定」の順に
選んで、端末暗証番号を入力する

端末暗証番号について P.193

2 設定したい非通知理由を選ぶ



通知不可能：海外からの電話や一般電話から各種転送サービスを経た電話など、電話番号を送出することができないネットワークからの電話をつなげる(許可)かつなげない(拒否)かを設定します。

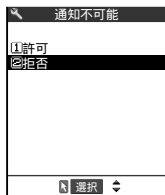
経由する電話会社などにより電話番号が通知される場合があります。

公衆電話：公衆電話からかけてきた電話をつなげる(許可)かつなげない(拒否)かを設定します。

NTTの公衆電話からの電話などが「公衆電話」と表示されます。

非通知設定：発信者の意志により電話番号を通知してこない電話をつなげる(許可)かつなげない(拒否)かを設定します。

3 設定したい項目を選ぶ



電話番号を通知してこない電話番号からの着信を許可する場合「許可」を選び、電話がかかってきたときの着信音を選ぶ

着信音の選びかた P.163

電話番号を通知してこない電話番号からの着信を拒否する場合「拒否」を選ぶ

おしらせ

「拒否」に設定した発信者番号非通知理由から電話がかかってきた場合、「着信履歴 (P.151)」には「不在着信履歴」として記憶され、待受画面には「不在着信あり」のデスクトップアイコンが表示されます。

「許可」に設定した発信者番号非通知理由から電話がかかってきた場合、通知されない理由が表示されます。

「許可」に設定したときの着信音を「通常着信音と同じ」に設定した場合は、「着信音選択」の「電話」で設定した着信音になります。

発信者番号非通知のテレビ電話がかかってきた場合は、「着信音選択」の「TV電話」で設定した着信音が鳴ります。

iモードメールやSMSは、本機能に関係なく受信されます。

ポーズダイヤル

プッシュ信号を送って、さまざまな操作が簡単にできます

FOMA端末からプッシュ信号を送って、クイックキャスト*へのメッセージ送信やチケットの予約、銀行の残高照会などのサービスを利用できます。

ダイヤルデータをポーズダイヤルに登録します

プッシュ信号として送るダイヤルデータをポーズダイヤルにあらかじめ登録します。ポーズ(p)を入力しておく、ポーズが入力されている箇所ではダイヤルデータを区切りながら送ることができます。

登録できるダイヤルデータは1件、最大128文字まで入力できます。

ダイヤルデータに登録できる文字は0～9、#、*、ポーズ(p)です。

ポーズ(p)をダイヤルデータの先頭に入れたり、連続して入力することはできません。

ポーズ(p)をダイヤルデータの最後に入力すると、ダイヤルデータを登録する際に自動的に削除されます。

1



「その他」▶「ポーズダイヤル」の順に選ぶ



すでにダイヤルデータが登録されている場合
登録されているダイヤルデータが表示されます。

2



「編集」を押してダイヤルデータを入力する

0～9、*、#、*を押してダイヤルデータを入力してください。

ポーズ(p)を入力する場合

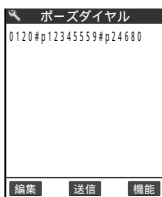
*を押すを1秒以上押す

ダイヤルデータをポーズダイヤルとして送信します

1

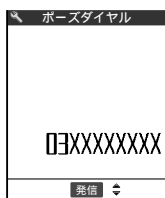


「その他」▶「ポーズダイヤル」の順に選ぶ



ダイヤルデータを削除する場合
機能メニューから「削除」を選ぶ

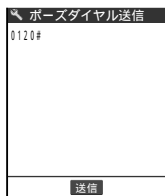
2 ● [送信] を押して送信先の電話番号をダイヤルする



電話帳から電話番号を入力する場合

- 電話番号の一部をダイヤルして●を押して検索する
- を押して電話帳検索画面から検索方法を選んで検索する
- を押して着信履歴、または●を押してリダイヤルから検索する

3 ● または● [発信] を押す



入力した電話番号に電話がかかり、呼出中になると最初のポーズ(p)までのダイヤルデータが表示されます。ポーズ(p)は表示されません。

4 ● または● [送信] を押してダイヤルデータを送信する

- または● [送信] を押すたびに、ポーズ(p)までのダイヤルデータが送出されます。最後の番号を送り終わると通話中画面になります。

ダイヤルデータをまとめて送出する場合

- を1秒以上押して、ポーズ送出メニューから「一括送出」を選ぶ

お知らせ

通話中にポーズダイヤル画面を表示させて● [送信] を押すと、通話中の相手にダイヤルデータを送信できます。

待受画面で直接ポーズダイヤルを入力してダイヤルデータを送信することもできます。その場合は、最初に相手の電話番号をダイヤルした後、ポーズ(p) 送出したいダイヤルデータの順に入力します。入力後、●を押して電話をかけ、通話中になってから●を押すと、次のポーズ(p)までのダイヤルデータが送出されます。

テレビ電話ではポーズダイヤルは無効となり、ポーズ以下のダイヤルデータを送信できません。受信側の機器によっては、信号を受信できない場合があります。

プレフィックス設定

電話番号の前に番号を付けます


お買い上げ時 「WORLD CALL(009130010)」

よく使用する特定の番号(プレフィックス)をあらかじめ設定します。設定した番号は「ダイヤル入力」、「電話帳」、「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」で電話をかけるときに電話番号の前につけてダイヤルできます。「発信者番号通知」などの番号を設定しておくとう便利です。

プレフィックスは7件まで登録できます。

番号に登録できる文字は0~9、#、*です。

1   「その他」▶「プレフィックス設定」の順に選ぶ

2 <未登録>を反転表示して  [編集] を押す



すでに登録されているプレフィックスの内容を変更する場合
変更したい題名のプレフィックスを選ぶ

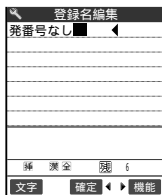
プレフィックスを1件削除する場合

削除したい項目を反転表示して機能メニューから「1件削除」を選ぶ

プレフィックスをすべて削除する場合

機能メニューから「全削除」を選ぶ

3 登録名を入力する



登録名は全角で8文字、半角で16文字まで入力できます。
文字の入力のしかた P.300

4 番号(プレフィックス)を入力する



番号は10桁まで入力できます。

お知らせ

電話帳の詳細画面、「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」を表示しているときや、ダイヤル入力時に機能メニューの「プレフィックス」を選ぶと、電話番号にプレフィックスをつけることができます。

お買い上げのときに登録されている「WORLD CALL (009130010)」は、別の内容に変更できません。

サブアドレス設定

サブアドレスに対応できるようにします

お買い上げ時 ON

電話番号に含まれる「*」を区切り文字とし、「*」以降をサブアドレスとして認識するように設定できます。サブアドレスはISDNで特定の通信機器へ指定着信するときや「M-stageVライブ」でコンテンツを選択するときなどに利用します。

1



「その他」▶「サブアドレス設定」の順に選ぶ



サブアドレス機能を有効にする場合

「ON」を選ぶ

サブアドレス機能を無効にする場合

「OFF」を選ぶ

お知らせ

次のような場合、「*」はサブアドレスの区切り文字にはなりません。「*」も含めて普通の電話番号として認識されます。

- ・ 電話番号の先頭に「*」がある場合
- ・ 電話番号の先頭に「186 / 184」があり、その直後に「*」がある場合
- ・ 「プレフィックス」で入力した番号の直後に「*」がある場合

履歴を利用します

電話をかけたたり、メールを受信したりすると、その電話番号やメールアドレスがFOMA端末に履歴として記憶されます。履歴は電話をかけた相手やメールを送ってきた相手を確認したり、記憶されている電話番号に電話をかけたたりメールを送ったりする場合などに利用できます。

発信履歴 / 着信履歴を利用します

電話をかけた相手や、かかってきた相手の電話番号や日付・時刻などの情報は発信履歴 / 着信履歴として記憶されます。また、電話に出られなかった場合は不在着信履歴として記憶されます。発信履歴 / 着信履歴 / 不在着信履歴は、音声電話 / テレビ電話 / パケット通信 / 64Kデータ通信をアイコンで区別して表示するので、ひとめで履歴の種類がわかります。

発信履歴 / 着信履歴は音声電話とテレビ電話の履歴を30件、パケット通信と64Kデータ通信の履歴を30件、合計60件までそれぞれ記憶できます。

履歴が最大件数を超えた場合は、古い履歴から順に上書きされます。

テレビ電話中は、発信履歴 / 着信履歴を表示できません。

パケット通信の着信は発信元の接続先(APN)が表示されます。

「時計設定」で日付・時刻が設定されていない場合は、日付・時刻は記憶されません。

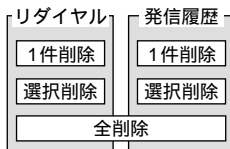
発信履歴とリダイヤルとの違い

発信履歴とリダイヤルでは次のような違いがあります。

	発信履歴	リダイヤル
記憶する履歴の種類	音声電話、テレビ電話、パケット通信、64Kデータ通信	音声電話、テレビ電話
同じ電話番号に電話をかけた場合	別の1件として記憶する	上書きして最新の1件として記憶する

：「全削除」を行うと、「リダイヤル」と「発信履歴」の両方がすべて削除されます。発信履歴を「1件削除」、「選択削除」してもリダイヤルからは削除されず、履歴が残りますのでご注意ください。

リダイヤルの削除について P.73



< 例：着信履歴を利用する場合 >

1



「着信履歴」の順に選ぶ



を押しても着信履歴を呼び出すことができます。

発信履歴を利用する場合

「発信履歴」を選ぶ

2

着信履歴の種類を選ぶ

着信履歴	
全着信	2.0
不在着信	0.8
未確認件数	3

選択

すべての着信履歴を表示する場合

「全着信」を選ぶ

不在着信履歴だけを表示する場合

「不在着信」を選ぶ

未確認件数とは内容を確認していない履歴の件数を表します。

3

確認したい履歴を選ぶ

着信履歴 1/4	
7/15 11:34	戸田俊司
7/15 8:40	杉本美紀子
7/14 18:15	09XXXXXXXXXX
7/14 15:23	中西哲也
7/12 22:46	戸田俊司

切替 選択 機能

履歴を1件削除する場合

削除したい履歴を反転表示して機能メニューから「1件削除」を選ぶ

複数の履歴を選んで削除する場合

機能メニューから「選択削除」を選んで削除する履歴を選ぶ

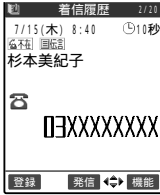
履歴をすべて削除する場合

機能メニューから「全削除」を選ぶ

全着信履歴の一覧画面から不在着信の呼出時間を表示する場合

機能メニューから「呼出時間表示」を選ぶ

一覧画面には不在着信のみが表示され、各不在着信履歴の呼出時間が表示されます。を押すと着信履歴の一覧画面に戻ります。



画面右上には「現在の履歴番号 / 全体の履歴件数」が表示されます。履歴番号が若いほど新しい履歴となります。

不在着信の場合は、日時の横に呼出時間が表示されます。

前後の履歴を確認する場合

⊙ または ⊙ を押す

⊙ を押すと前(新しい)の履歴に、⊙ を押すと次(古い)の履歴に切り替わります。

ただし、発信履歴の場合は、⊙ を押すと前(新しい)の履歴に、

⊙ を押すと次(古い)の履歴に切り替わります。

履歴に表示されている電話番号に音声電話をかける場合

音声電話をかけたい履歴を表示させて ⊙ を押す

履歴に表示されている電話番号にテレビ電話をかける場合

テレビ電話をかけたい履歴を表示させて ⊙ を押す

テレビ電話中に送信する画像を設定する場合

機能メニューから「TV電話画像選択」を選ぶ

「自画像」を選ぶと内側カメラの映像が送信されます。そのほかの代替画像についてはP.98を参照してください。

履歴に表示されている電話番号を電話帳に登録する場合

登録したい電話番号を表示させて機能メニューから「電話帳登録」を選ぶ
電話帳の登録のしかた P.108

履歴からiモードメールを送信する場合

iモードメールを送信したい履歴を表示させて機能メニューから「iモードメール作成」を選ぶ

履歴の電話番号が登録されている電話帳のメールアドレスが宛先に入力された状態の新規メール作成画面が表示されます。

iモードメールの作成のしかた 『アプリケーション編』のP.152

発信履歴 / 着信履歴アイコン

: 音声電話の発信 / 着信があったことを示します。

: テレビ電話の発信 / 着信があったことを示します。

: 遠隔監視の着信があったことを示します。

: パケット通信の発信があったことを示します。

: パケット通信からの着信などがあったことを示します。

: 64Kデータ通信の発信があったことを示します。

: 64Kデータ通信からの着信などがあったことを示します。

不在着信履歴アイコン

: かかってきた音声電話に出なかったことを示します。

: かかってきた音声電話に出なかったため「伝言メモ」に相手の用件が録音されていることを示します。

: かかってきたテレビ電話に出なかったことを示します。

: かかってきたテレビ電話に出なかったため「伝言メモ」に相手の用件が録音されていることを示します。

: 遠隔監視としてかかってきたテレビ電話がつながらなかったことを示します。

: パケット通信からの着信などに出なかったことを示します。

: パケット通信からの着信などを受けとらなかったことを示します。

: 64Kデータ通信からの着信などに出なかったことを示します。

: 64Kデータ通信からの着信などを受けとらなかったことを示します。

: 不在着信履歴のうち、内容を確認していない不在着信であることを示します。

お知らせ

< 共通 >

電源を切っても、発信履歴 / 着信履歴は削除されません。発信 / 着信した電話番号をほかの人に見られたくない場合は、履歴を削除するか、「履歴表示設定 (P.206)」の「着信履歴」および「ダイヤル / 発信履歴」を「OFF」に設定してください。

着信履歴の表示中に電話の着信があった場合は、履歴データが更新され「情報更新中」というメッセージが表示される場合があります。メッセージ表示中はほかの履歴に切り替えることはできません。「PIMロック」を設定している場合は、電話帳に名前が登録されている相手の発信 / 着信でも電話番号だけが記憶されます。

< 発信履歴 >

シークレットデータとして登録された電話帳を「シークレットモード」、「シークレット専用モード」で呼び出して電話をかけても、発信履歴には記憶されません。

「PIMロック」、「ダイヤル発信制限」、「指定発信制限」を設定すると、それまでの発信履歴はすべて削除されます。ただし、設定後にかけた電話は発信履歴に記憶されます。

< 着信履歴 >

「不在着信」、「未確認件数」は不在着信がない場合は表示されません。

未確認の不在着信の件数は、その内容を確認すると1件ずつ減っていきます。

電話番号を通知してきた電話番号が電話帳に登録されている場合は、電話番号と名前が着信履歴に表示されます。電話番号を通知しなかった場合は、非通知理由が表示されます。

「PIMロック」、「ダイヤル発信制限」を設定すると、それまでの着信履歴はすべて削除されます。ただし、設定後に受けた電話は着信履歴に記憶されます。

「指定発信制限」を設定しているときに、「指定発信制限」に設定されている電話帳以外の相手から電話がかかってきた場合は、電話番号のみ記憶されます。

相手がダイヤルインを利用している場合、ダイヤルイン番号とは異なった番号が表示されることがあります。

パケット通信および64Kデータ通信の着信履歴から電話帳に登録したり、新規メールを作成することはできません。

送信アドレス一覧 / 受信アドレス一覧を利用します



メールを送信したり、送信してきた相手のメールアドレスや日付・時刻などの情報は送信アドレス一覧 / 受信アドレス一覧に記憶されます。送信アドレス一覧 / 受信アドレス一覧は内容を確認することができ、そこからメールを作成して送信したり、電話帳に電話番号を登録したりできます。また、送信アドレス一覧 / 受信アドレス一覧は、iモードメール / SMSをアイコンで区別して表示するので、ひとめで履歴の種類がわかります。

送信アドレス一覧 / 受信アドレス一覧は、iモードメールのメールアドレスやSMSの電話番号などをそれぞれ30件まで記憶できます。

履歴が最大件数を超えた場合は、古い履歴から順に上書きされます。

テレビ電話中は、送信アドレス一覧 / 受信アドレス一覧を表示できません。

< 例：送信アドレス一覧を利用する場合 >

1   「発信履歴」の順に選ぶ

受信アドレス一覧を利用する場合

「着信履歴」を選ぶ

2 [切替]を押す

発信履歴 1/4	
7/15 11:27	戸田俊司
7/14 10:40	中西哲也
7/12 18:13	090XXXXXXX
7/12 17:41	杉本美紀子
7/10 21:58	戸田俊司

送信アドレスが一覧で表示されます。

3 確認したいアドレスを選ぶ

送信アドレス一覧 1/4	
7/14 13:37	高田雅美
7/14 11:53	中西哲也
7/13 23:43	戸田俊司
7/12 17:41	090XXXXXXX
7/10 21:58	杉本美紀子

アドレスを1件削除する場合

削除したいアドレスを反転表示して機能メニューから「1件削除」を選ぶ

複数のアドレスを選んで削除する場合

機能メニューから「選択削除」を選んで削除するアドレスを選ぶ

アドレスをすべて削除する場合

機能メニューから「全削除」を選ぶ

4 アドレスの内容を確認する

送信アドレス一覧 4/4	
7/10(土)21:58	杉本美紀子
docomo.taro. @docomo.ne.jp	

画面右上には「現在のアドレス番号 / 全体のアドレス件数」が表示されます。アドレス番号が若いほど新しい履歴となります。

前後のアドレスを確認する場合

⌚ または ⌚ を押す

⌚ を押すと前(新しい)のアドレスに、⌚ を押すと次(古い)のアドレスに切り替わります。

ただし、受信アドレス一覧の場合は、⌚ を押すと前(新しい)のアドレスに、⌚ を押すと次(古い)のアドレスに切り替わります。

アドレスに表示されているメールアドレスにiモードメールを送信する場合

iモードメールを送信したいアドレスを表示させて機能メニューから「iモードメール作成」を選ぶ

iモードメールの作成 『アプリケーション編』のP.152

アドレスに表示されている電話番号またはメールアドレスを電話帳に登録する場合

登録したい電話番号またはメールアドレスを表示させて機能メニューから「電話帳登録」を選ぶ

電話帳の登録のしかた P.108

アドレスに表示されている電話番号に音声電話をかける場合

音声電話をかけたいアドレスを表示させて機能メニューから「電話発信」-「音声発信」を選ぶ

電話帳の一番目に登録されている電話番号に電話をかけます。

アドレスに表示されている電話番号にテレビ電話をかける場合

テレビ電話をかけたいアドレスを表示させて機能メニューから「電話発信」-「32KTV電話発信」または「64KTV電話発信」を選ぶ

お知らせ

電源を切っても、送信アドレス一覧/受信アドレス一覧は削除されません。送信/受信したアドレスなどをほかの人に見られたくない場合は、アドレスを削除するか、「履歴表示設定 (P.206) の「着信履歴」および「リダイヤル/発信履歴」を「OFF」に設定してください。

受信アドレス一覧の表示中にメールを受信した場合には、受信を完了するまでの間「情報更新中」というメッセージが表示されます。メッセージの表示中はほかのアドレスに切り替えることはできません。





「PIMロック」、「ダイヤル発信制限」を設定すると、それまでの送信アドレス一覧/受信アドレス一覧はすべて削除されます。ただし、設定後に送信/受信したメールのアドレスは一覧に記憶されます。

「セキュリティ設定」で送信BOX/受信BOXにセキュリティが設定されている場合や、「シークレットモード」および「シークレット専用モード」でシークレットデータとして登録された電話帳のメールアドレスは一覧に記憶されません。



<送信アドレス一覧>

シークレットコードが設定されている電話帳のアドレスは、シークレットコードを除いた部分が送信アドレス一覧で表示されます。

送信アドレス一覧アイコン

-  : iモードメールの送信があったことを示します。
-  : iモードメールの送信が失敗したことを示します。
-  : SMSの送信があったことを示します。
-  : SMSの送信が失敗したことを示します。

受信アドレス一覧アイコン

-  : iモードメールの受信があったことを示します。
-  : SMSの受信があったことを示します。

ノイズキャンセラ

電話の声を聞きやすくします

お買い上げ時 ON

ノイズキャンセラとは、周囲の騒音を抑える機能です。周囲に騒音がある場所でも、音声通話やテレビ電話の声を相手に聞きやすくすることができます。

1



「通話」▶「ノイズキャンセラ」の順に選ぶ



ノイズキャンセラを有効にする場合

「ON」を選ぶ

ノイズキャンセラを無効にする場合

「OFF」を選ぶ

再接続機能

通話が途切れたときにお知らせします

お買い上げ時 アラームなし

FOMA端末は音声通話中やテレビ電話中に電波の状態が悪くなって通話が途切れても、すぐに電波の状態がよくなった場合には自動的に通話を再接続します。本機能では通話を再接続したときのアラームの鳴りかたを設定できます。

本機能の設定にかかわらず、iモード中はアラームは鳴りません。

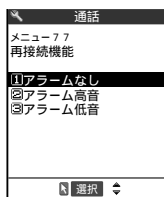
ご利用状態や電波の状態により、再接続が可能な時間は異なります。約10秒間が目安です。

急に電波の状態が悪くなった場合は、アラームが鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

1



「通話」▶「再接続機能」の順に選ぶ



アラームを鳴らさない場合

「アラームなし」を選ぶ

高音のアラームを鳴らす場合

「アラーム高音」を選ぶ

低音のアラームを鳴らす場合

「アラーム低音」を選ぶ

おしらせ

再接続されるまでの間(最長約10秒間)も通話料金がかかります。

電波が途切れている間、相手は無音状態となります。

通話品質アラーム

通話が切れそうなお知らせします

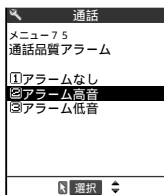
お買い上げ時 | アラーム高音

音声通話中に電波の状態が悪くなって途中で通話が切れそうな場合は、直前にアラームを鳴らしてお知らせします。通話が切れる前に電波の状態がよい場所へ移動したり、相手の了解を得てから電話を切り、もう一度かけ直すなどの対処ができるので便利です。

急に電波の状態が悪くなった場合は、アラームが鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

テレビ電話では本機能は動作しません。

1   「通話」▶「通話品質アラーム」の順に選ぶ



アラームを鳴らさない場合

「アラームなし」を選ぶ

高音のアラームを鳴らす場合

「アラーム高音」を選ぶ

低音のアラームを鳴らす場合

「アラーム低音」を選ぶ

保留音選択

保留中に流れるガイダンスを選択します

お買い上げ時 | 応答保留音：応答保留音1 | 通話中保留音：エリーゼのために

音声電話やテレビ電話の応答を保留にしたときや、通話中の電話を保留したときに流れるガイダンスを設定できます。

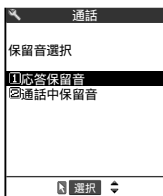
設定できる項目は次のとおりです。

設定項目	ガイダンスの種類	ガイダンスの内容
応答保留音	応答保留音1	「ただいま電話に出ることができません。このままお待ちになるかしばらくたってからおかけ直してください」
	応答保留音2	「ただいま電話に出ることができません。しばらくたってからおかけ直してください」
	おしゃべり1、2	「おしゃべり機能」で録音した内容 P.249
通話中保留音	エリーゼのために	-
	おしゃべり1、2	「おしゃべり機能」で録音した内容 P.249

：「おしゃべり機能」で音声録音されていない場合は設定できません。

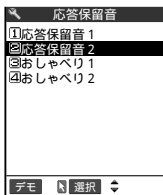
1   「通話」▶「保留音選択」の順に選ぶ

2 保留音を設定する状況を選ぶ



- 応答保留音を設定する場合
「応答保留音」を選ぶ
- 通話中保留音を設定する場合
「通話中保留音」を選ぶ

3 設定したいガイダンスを選ぶ



応答保留音の場合

- ガイダンスを聞く場合
- デモ を押す
ガイダンスが1回再生されます。
 - CLIP を押すとガイダンスを途中で止めることができます。

着信アンサー設定

着信音を止められるようにします

お買い上げ時 エニーキーアンサー

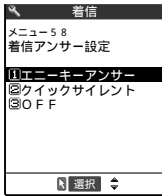
電話がかかってきたとき、すぐに着信音を止められるように設定します。周囲に迷惑がかかるような場所で電話がかかってきた場合などに便利です。設定できる項目は次のとおりです。

設定項目	内容
エニーキーアンサー	音声電話がかかってきたとき、以外にも～、、、、のいずれかのボタンを押すと、すぐに電話に出ることができます。ただしテレビ電話の場合は無効になります。
クイックサイレント	音声電話やテレビ電話がかかってきたとき、～、、、、のいずれかのボタンを押すかFOMA端末を開くと、着信音およびバイブレータが止まります。着信音を止めても相手には呼び出し音が鳴ったままです。音声電話の場合は、または [通話] を押すと電話に出ることができます。テレビ電話の場合は、を押すとカメラ映像で、または [通話] を押すと代替画像で電話に出ることができます。
OFF	音声電話がかかってきた場合は、または [通話] を押したときのみ電話に出ることができます。テレビ電話がかかってきた場合は、、、 [通話] のいずれかのボタンを押したときのみ電話に出ることができます(、 [通話] を押したときは代替画像でテレビ電話に出ます)。

1



「着信」▶「着信アンサー設定」の順に選ぶ



エニーキーアンサーで電話を受ける場合

「エニーキーアンサー」を選ぶ

クイックサイレントで電話を受ける場合

「クイックサイレント」を選ぶ

、 [通話]、 のみで電話を受ける場合

「OFF」を選ぶ

おしらせ

「クイックサイレント」に設定していても、「マナーモード」設定中は「エニーキーアンサー」として機能します。

本機能を「クイックサイレント」に設定していても、テレビ電話および電話帳画像着信設定 (P.181) を「ON」に設定しているときに電話帳に画像を登録している相手から電話がかかってきた場合や着モーションを設定している場合は、「クイックサイレント中」というメッセージは表示されません。

クローズ動作設定

通話中にFOMA端末を折り畳んだときの動作を設定します

お買い上げ時 | 終話

音声通話中やテレビ電話中にFOMA端末を折り畳んだときの動作を設定できます。設定できる項目は次のとおりです。

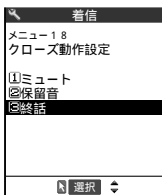
設定項目	内容
ミュート	音声電話の場合、音声をミュート(消音)します。テレビ電話の場合、音声をミュートして相手側に「代替画像 (P.98)」を送信します。保留音は流れません。FOMA端末を開くと閉じる前の状態に戻ります。ただし、通話中保留の状態から閉じて再度開いた場合は、通話中の状態になります。
保留音	通話を保留(通話中保留)にします。音声電話の場合、折り畳んでいる間相手に「保留音選択 (P.158)」で設定した保留音が流れます。また、自分のFOMA端末のスピーカからも保留音が流れます。テレビ電話の場合、「保留音選択」で設定した保留音が流れ、相手側に通話中保留画像(P.98)を送信します。FOMA端末を開くと閉じる前の状態に戻ります。ただし、通話中保留の状態から閉じて再度開いた場合は、通話中の状態になります。
終話	通話を終了します。 を押す操作と同じです。

スイッチ付イヤホンマイクを接続している場合、本機能は無効になり、FOMA端末を折り畳んでも通話状態は変化しません。ただし、カメラ映像でテレビ電話を使用している場合は、FOMA端末を折り畳むと代替画像に切り替わります。

1



「着信」▶「クローズ動作設定」の順に選ぶ



FOMA端末を折り畳んだとき音声を消す場合

「ミュート」を選ぶ

FOMA端末を折り畳んだとき保留音を流す場合

「保留音」を選ぶ

FOMA端末を折り畳んだとき通話を終了する場合

「終話」を選ぶ

お知らせ

「ミュート」または「保留音」に設定していても、音声メモの録音中は無効になります。
 「保留音」に設定していても、「キャッチホン」(P.281)で切り替え通話しているときにFOMA端末を折り畳むと「ミュート」の動作になります。

通話中時間表示

通話中に通話時間を表示します

お買い上げ時 ON

音声通話中やテレビ電話中に通話時間を表示するかどうかを設定できます。

通話時間が「19時間59分59秒」を超えた場合は、「0秒」から再カウントされます。

表示される通話時間はあくまでも目安であり、正確なものではありません。

iモード中およびパケット通信中の通信時間はカウントされません。

1



「時間」▶「通話中時間表示」の順に選ぶ



通話中に通話時間を表示する場合

「ON」を選ぶ

通話中に通話時間を表示しない場合

「OFF」を選ぶ

積算通話時間を確認/リセットします

音声通話やテレビ電話などの積算通話時間や前回通話時間を確認し、そのデータをリセットしてゼロに戻すことができます。音声通話とデジタル通話それぞれの積算通話時間を確認したい場合や1ヶ月ごとの積算通話時間を確認したい場合などに便利です。

通話時間を確かめます

音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信の直前の通話時間、積算の通話時間、前回に積算リセットした日時を表示して確認できます。

積算通話時間が「199時間59分59秒」を超えた場合は、「0秒」から再カウントされます。

表示される通話時間はあくまでも目安であり、正確なものではありません。

iモードおよびパケット通信にかかった時間は通話時間に含まれません。

1



「時間」▶「通話時間」の順に選ぶ

通話時間	
前回通話時間	1時間 6分 2秒
積算通話時間	音声通話 3 4時間 2 3分 4 8秒
	デジタル通信 9時間 1 3分 3 2秒
積算リセット日時	6/27 10:24

前回通話時間 : 直前の通話時間の目安を表示します。発信、着信どちらの通話でも通話時間を表示します。

積算通話時間 : 前回リセットしたとき(「0秒」に戻したとき)から現在までの積算時間を表示します。「音声通話」は音声電話の積算通話時間を表示します。「デジタル通信」はテレビ電話と64Kデータ通信の積算通話時間を表示します。

積算リセット日時 : 前回に積算リセットをした日時を表示します。

おしらせ

電源を切るかFOMAカードを外すと、前回通話時間の表示は「0秒」になります。

電源を切っても、積算通話時間の情報は残ります。

お買い上げのときや「時計設定」で日付・時刻が設定されていない場合、積算リセット日時は「--/-- --:--」と表示されます。

積算時間をリセットします

「通話時間」に表示される前回の通話時間および積算通話時間をゼロに戻すことができます。

1

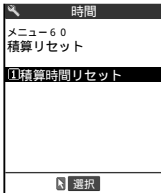


「時間」▶「積算リセット」の順に選んで、端末暗証番号を入力する

端末暗証番号について P.193

2

[選択] を押して「YES」を選ぶ



積算リセットを中止する場合

[選択] を押して「NO」を選ぶ

おしらせ

前回積算リセットした日時は「通話時間」で確認できます。

電話やメールの着信音を選択します

お買い上げ時

電話：着信音1 TV電話：着信音1 メール：着信音2

メッセージリクエスト：着信音3 メッセージフリー：着信音3

音声電話、テレビ電話、メール、メッセージリクエスト、メッセージフリーを受けたときのそれぞれの着信音を設定できます。また、特定の電話番号やメールアドレス、アドレス帳のグループを指定してそれぞれに着信音を設定することもできます。 P.120

サイトやインターネットホームページから取り込んだiモーションを着信音に設定できます。メール、メッセージリクエスト、メッセージフリー、64Kデータ通信はiモーション(着メーション)を設定できません。

待受画面以外の画面を表示中にメール、メッセージリクエスト、メッセージフリーを受信したときは、着信音が鳴りません。

「おしゃべり」は「おしゃべり機能」で音声か録音されていないと設定できません。

「PIMロック」設定中は、あらかじめ登録されているパターン、効果音、メロディ以外のデータを設定できません。また、「PIMロック」設定中は着メーションを着信音に設定できません。

1



着信



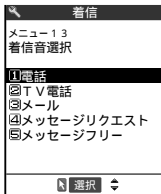
着信音選択



の順に選ぶ

2

着信音を設定したい項目を選ぶ



電話 : 音声電話、64Kデータ通信の着信音を設定します。

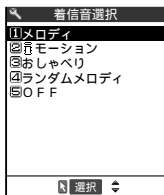
TV電話 : テレビ電話の着信音を設定します。

メール : iモードメール、SMS、バケット通信の着信音を設定します。

メッセージリクエスト : メッセージリクエストの着信音を設定します。

メッセージフリー : メッセージフリーの着信音を設定します。

3 カテゴリーを選ぶ



メロディ : あらかじめ登録されているパターン3種類、効果音8種類、メロディ10種類を「ブリンストール」フォルダから、またはサイトやインターネットホームページなどからダウンロードしたメロディ最大160種類を「INBOX」またはお客様が作成したフォルダから選びます。

iモーション : FOMA端末に取り込んだiモーションを「INBOX」、「カメラ」、「ブリンストール」またはお客様が作成したフォルダから選びます。

着信時には選んだiモーションに応じて音や映像が再生されず(着モーション機能)。

メール、メッセージリクエスト、メッセージフリー、64Kデータ通信の着信音にiモーション(着モーション)を選ぶことはできません。

着モーション機能について『アプリケーション編』のP.94

おしゃべり : 「おしゃべり機能」(P.249)に録音されている「おしゃべり1」、「おしゃべり2」から着信音を選びます。着信時は録音されている音声再生されます。

ランダムメロディ : メロディが保存されているフォルダを選びます。着信時にはフォルダに保存されているメロディがランダムで選曲され、再生されます。

OFF : 着信音を鳴らしません。

4 着信音に設定したいメロディを選ぶ




メロディを反転表示すると、そのメロディが鳴ります。☺、☹、♯、♭のいずれかのボタンを押すと、メロディは止まります。

iモーションを選んだ場合

☺ [デモ] を押すと、iモーションが再生されます。


あらかじめ登録されている着信音・メロディー一覧

表示	曲名	作曲者
着信音1～3	-	-
序曲/ドラゴンクエスト	序曲/ドラゴンクエスト	すぎやまこういち
奇跡	奇跡	梁 剣峰
木星	"The planets" Jupiter	GUSTAV THEODORE HOLST
Wonderful Moments	-	-
交響曲第9番「新世界」	SYMPHONY No.9 FROM THE NEW WORLD	DVORAK ANTONIN
乙女の祈り	GEBET EINER JUNGFRAU	BADARZEWSKA BARANOWSKA TEKLA
くるみ割り人形	Nutcracker March	Tchaikovsky
Scarborough Fair	Scarborough Fair	イギリス民謡
アイーダ	Aida	Giuseppe Fortunino Francesco Verdi
ノクターン	夜想曲第2番 op.9-2	CHOPIN FREDERIC FRANCOIS
キラキラ	-	-
ひよこ	-	-
Healing Sound	-	-
Calling	-	-
You've Got Mail	-	-
Techno	-	-
Funky!	-	-
黒電話	-	-

録音許諾番号：T-0440033 

あらかじめ登録されている着メーション一覧

表示	曲名	作曲者
鳥唄 ウチナーグチ・バージョン	鳥唄 ウチナーグチ・バージョン	宮沢和史

許諾番号：0001633JRCL  音源提供：株式会社ソニーミュージックレコーズ

「iメーション」の「プリインストール」フォルダに登録されています。

「PIMロック」設定中はあらかじめ登録されている着信音のみ設定できます。あらかじめ登録されている着メーションも設定できませんのでご注意ください。

「PIMロック」設定中に着信があった場合、着信音をあらかじめ登録されている着信音以外のデータやファイルに設定していると、お買い上げのときに設定されている着信音が鳴ります。



「バイブレータ」(P.167)で振動パターンを「メロディ運動」に設定し、あらかじめ振動パターンが指定されているメロディを着信音に設定すると、メロディに合わせてFOMA端末が振動します。なお、着メーションはバイブレータに運動しません。

「着信イルミネーション」(P.185)で点滅のしかたを「メロディ運動」に設定し、あらかじめイルミネーションの点滅パターンが指定されているメロディを着信音に設定すると、メロディに合わせて着信ランプが点滅します。なお、着メーションは着信イルミネーションに運動しません。

メロディプレーヤーで「着信音」を設定すると、本機能の設定も同じ内容に変更されます。『アプリケーション編』のP.339

ムービープレーヤーで「着信音」の「電話」、「TV電話」を設定すると、本機能の「電話」、「TV電話」の設定も同じ内容に変更されます。『アプリケーション編』のP.327

FOMAカード動作制限機能(P.53)が設定されたデータやファイルを着信音に設定した場合、FOMAカードを抜いたり、ほかの人のFOMAカードに差し替えるとお買い上げのときの着信音が鳴りません(設定は変更されませんので、FOMAカードを元に戻すと設定された着信音が鳴ります)。着信音選択中に再生される着信音の音量は、「着信音量」(P.79)の「電話/TV電話」および「メール/メッセージ」で設定した音量となります。「着信音量」を「消去」に設定している場合は鳴りません。着信音にiメーション(着メーション)を設定して音声通話中に着信があった場合、または音声通話中に着信があって応答保留にした場合、着信音はお買い上げ時の設定で動作します。

「」「」が付いているメロディは、あらかじめ再生部分が指定されている場合があります。そのため着信音などに設定した場合は指定部分のみが再生されます。

着信音に設定できないiメーションはグレーで表示されます。

映像と音のあるiメーションを着信音に設定した場合は、「画面表示設定」で設定した画像ではなく、iメーションの映像が表示されます。

相手が電話番号を通知してこない音声電話の着信音は、「非通知着信設定」(P.145)で設定できます。相手が電話番号を通知してこないテレビ電話の着信音は、本機能の「TV電話」の設定に従います。

メール着信音の機能を同時に設定したときの優先順位は次のとおりです。が最も優先度が高くなります。

- 電話帳便利機能のメール着信音
- グループ便利機能のメール着信音
- 着信音選択のメール着信音


「電話」の着信音にプリインストール着メーションなどのiメーションを設定すると、64Kデータ通信の際には「着信音1」が鳴ります。

着信を振動でお知らせします

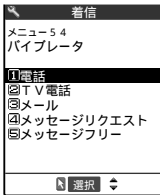
お買い上げ時 OFF

音声電話、テレビ電話、メール、メッセージリクエスト、メッセージフリーを受けたときのそれぞれの振動パターンを設定できます。

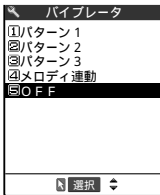
「バイブレータ」を「OFF」に設定している「オリジナルマナー」でマナーモードに設定している場合は振動しません。

1   「着信」▶「バイブレータ」の順に選ぶ

2 バイブレータを設定したい項目を選ぶ



3 振動パターンを選ぶ




振動パターンを反転表示すると、そのパターンでFOMA端末が振動します。


パターン1～3：一定のパターンでFOMA端末が振動します。


メロディ運動：着信音に設定されているメロディのパターンに合わせてFOMA端末が振動します。ただし、メロディにバイブレータのパターンが指定されていない場合、または着信音をiモーションに設定している場合は、パターン2で振動します。

OFF：FOMA端末は振動しません。

待受画面のアイコンで、バイブレータを設定している項目が確認できます。

：音声電話/テレビ電話でバイブレータを設定したことを示します。

：メールでバイブレータを設定したことを示します。

：音声電話/テレビ電話とメールの両方にバイブレータを設定したことを示します。

メッセージリクエスト/フリーのバイブレータ設定はアイコンで確認できません。

おしらせ

「メール/メッセージ鳴動」(『アプリケーション編』のP.239)を「OFF」に設定している場合、「V」は表示されず、メールまたはメッセージリクエスト/フリーを受信しても振動しません。Flash画像の効果音が鳴ったときは、バイブレータを設定していても振動しません。バイブレータを設定した場合は、着信時の振動でFOMA端末が火気(ストーブなど)に近づいたり、机から落ちたりしないよう注意してください。

ボタン確認音

ボタンを押したときの音を鳴らさないようにします

お買い上げ時 ON

周囲に迷惑がかからないように、ボタンを押したときの確認音を鳴らさないように設定できます。

本機能を「OFF」に設定した場合、次の音も鳴りません。

- ・ 各種警告音
- ・ 電池残量表示の音
- ・ 受話音量の調節を開始したときの音
- ・ めざまし時計のスヌーズ解除音

本機能の設定にかかわらず、次の操作を行うときは確認音が鳴ります。

- ・ FOMA端末を閉じた状態で「メモ/確認」を押したとき
- ・ カメラで撮影したとき
- ・ 電池切れアラーム音が鳴ったとき
- ・ メモの再生開始時/終了時(受話口から鳴ります)
- ・ 待受中音声メモの録音開始時/終了時(受話口から鳴ります)
- ・ おしゃべりの録音開始時/終了時(受話口から鳴ります)

ボタン確認音の音量は「着信音量」の設定にかかわらず一定の音量になります。

1   「その他」▶「ボタン確認音」の順に選ぶ



ボタン確認音を鳴らす場合

「ON」を選ぶ

ボタン確認音を鳴らさない場合

「OFF」を選ぶ

充電確認音が鳴るようにします

お買い上げ時 ON

充電したままFOMA端末を放置することがないように、充電をはじめたときや完了したときに「ピッピッ」と確認音が鳴るように設定できます。

本機能の設定にかかわらず、次の場合は確認音が鳴りません。

- ・待受画面以外の画面が表示されている場合
- ・ドライブモード設定中の場合
- ・マナーモード設定中の場合
- ・電源がOFFの場合
- ・「着信音量」の「電話 / TV電話」を「消去」に設定している場合

1   「その他」▶「充電確認音」の順に選ぶ



充電確認音を鳴らす場合

「ON」を選ぶ

充電確認音を鳴らさない場合

「OFF」を選ぶ

デスクトップアイコンを利用します

よくかける電話番号やよく使う機能をデスクトップアイコンとして待受画面に貼り付けると、簡単な操作で電話番号を表示したり機能呼び出ししたりできます。

デスクトップに貼り付けられるアイコンは次のとおりです。

- ・電話番号、メールアドレス、URL、メロディ、画像、動画、iモーション、キャラ電、iアプリのソフト
- ・カメラ、ToDoの一覧画面、アクセスリーダー、バーコードリーダー、辞典、オリジナルメニューの各機能

デスクトップアイコンは15件まで貼り付けることができます。

あらかじめFOMA端末に内蔵されているメロディや画像、自作アニメをデスクトップアイコンに貼り付けることはできません。


デスクトップアイコンを貼り付けます

<例：電話帳の電話番号を貼り付ける場合>

1 設定したい電話番号を表示する

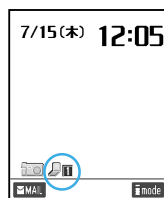
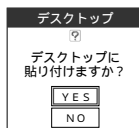
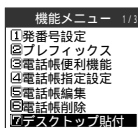
電話帳の検索のしかた P.116

同じ電話帳に複数の電話番号が登録されている場合

を押して設定したい電話番号を表示する

「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」から電話番号を貼り付ける場合
一覧画面で貼り付けたい電話番号を反転表示するか、詳細画面を表示する

2 機能メニューから「デスクトップ貼付」を選ぶ



おしらせ

シークレットデータとして登録した電話帳から貼り付けることはできません。

miniSDメモリーカードに保存されている電話番号、メールアドレス、URL、画像、動画、iモーションをデスクトップアイコンに貼り付けることはできません。

「PIMロック」設定中は、デスクトップアイコンの情報確認、タイトル編集、削除、デスクトップの初期化をすることはできません。

その他のデスクトップアイコンの貼り付けかた


メールアドレス

電話帳に登録してあるメールアドレスを貼り付ける場合

貼り付けたいメールアドレスの詳細画面を表示

受信メールの送信元や送信メールの宛先を貼り付ける場合

貼り付けたい送信元または宛先が表示されているメール詳細画面を表示

「」が表示されている送信元のアドレスは貼り付けできません。
受信アドレス一覧または送信アドレス一覧のメールアドレスを貼り付ける場合

一覧画面で貼り付けたいメールアドレスを反転表示

SMSアドレス（電話番号）

受信SMSの送信元、送信SMSの宛先を貼り付ける場合

貼り付けたい送信元または宛先が表示されているメール詳細画面を表示

受信アドレス一覧または送信アドレス一覧のSMSアドレスを貼り付ける場合

一覧画面で貼り付けるSMSアドレスを反転表示

電話帳からSMSアドレスを貼り付けることはできません。

URL

サイトのURLを貼り付ける場合

URLを貼り付けたいページを表示

ブックマークのURLを貼り付ける場合

Bookmark一覧画面で貼り付けたいタイトルを反転表示

URL履歴のURLを貼り付ける場合

URL履歴画面で貼り付けたいURLを反転表示

貼り付けできるURLの文字数は256文字までです。
画像やメロディが保存されているサイトのURLを貼り付けても、
デスクトップアイコンからそのサイトを表示できない場合があります。

メロディ、画像、動画やiモーション、キャラ電のデータ

「メロディプレイヤー」の一覧画面で貼り付けたいメロディを反転表示

「イメージビューア」の一覧画面で貼り付けたい画像を反転表示

「ムービープレイヤー」の一覧画面で貼り付けたい動画、iモーションを反転表示

「キャラ電プレイヤー」の一覧画面で貼り付けたいキャラ電を反転表示

アプリのソフト

ソフト一覧画面で貼り付けたいソフトを反転表示

「カメラ」機能

カメラメニュー画面を表示

「ToDo」のリスト

「ToDo」の一覧画面を表示

「アクセスリーダー」機能

「アクセスリーダー」の一覧画面または詳細画面を表示

「バーコードリーダー」機能

「バーコードリーダー」の一覧画面を表示

「辞典」機能

「辞典」の画面を表示

「オリジナルメニュー」

「オリジナルメニュー」の登録画面を表示

機能メニューから
➡ 「デスクトップ貼付」
を選ぶ

貼り付けたデスクトップのタイトルについて

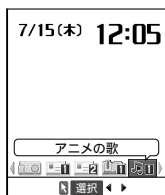
表示されるアイコン	種類	タイトル
	電話番号	電話帳に登録されている名前(ない場合は電話番号)
	メールアドレス	電話帳に登録されている名前(ない場合はメールアドレス)
	SMSアドレス	電話帳に登録されている名前(ない場合は電話番号)
	URL	ページのタイトル(ない場合は「http://」または「https://」を除いたURLの表示)
	メロディ	メロディのタイトル(ない場合は「メロディ」)
	画像	画像のファイル名(ない場合は「イメージ」)
	動画またはiモーション	動画またはiモーションのタイトル(ない場合は「iモーション」)
	キャラ電	キャラ電のタイトル(ない場合は「キャラ電」)
	iアプリのソフト	ソフト名
	カメラ	それぞれの機能名
	ToDo	
	アクセスリーダー	
	バーコードリーダー	
	辞典	
	オリジナルメニュー	

：デスクトップアイコンを選んだときに表示されるタイトルは、いずれの場合も先頭から全角で11文字、半角で22文字までです。

デスクトップアイコンからデータや機能呼び出します

1 待受画面表示中に を押す

2 呼び出したいデスクトップアイコンにカーソルを合わせる




















カーソルの位置にあるデスクトップアイコンのタイトルが表示されます。

デスクトップアイコンが6件以上登録されている場合

画面の左右に「」「」が表示されます。 を押してデスクトップアイコンをスクロールできます。

3 ● [選択] を押す

-  : 貼り付けた電話番号をダイヤル入力した画面に表示します。 や  を押して音声電話やテレビ電話をかけることができます。
-  : 貼り付けたメールアドレスが宛先に入力された新規メール作成画面を表示します。
『アプリケーション編』のP.152
-  : 貼り付けたSMSアドレス(電話番号)が宛先に入力された新規SMS作成画面を表示します。
『アプリケーション編』のP.196
-  : 貼り付けたURLのサイトに接続してページを表示します。 『アプリケーション編』のP.42
-  : 貼り付けたメロディを「メロディプレーヤー」で再生します。 『アプリケーション編』のP.339
-  : 貼り付けた画像を「イメージビューア」で表示します。 『アプリケーション編』のP.300
-  : 貼り付けた動画やiモー션을「ムービープレーヤー」で再生します。 『アプリケーション編』のP.314
-  : 貼り付けたキャラ電を「キャラ電プレーヤー」で再生します。 『アプリケーション編』のP.331
-  : 貼り付けたiアプリのソフトを起動します。 『アプリケーション編』のP.72
-  : 「カメラ」が起動します。 『アプリケーション編』のP.252
-  : 「ToDo」の一覧画面を表示します。 P.228
-  : 「アクセスリーダー」を起動します。 『アプリケーション編』のP.282
-  : 「バーコードリーダー」を起動します。 『アプリケーション編』のP.287
-  : 「辞典」を起動します。 P.237
-  : 「オリジナルメニュー」を表示します。 P.244

おしらせ



「PIMロック」設定中は電話番号、メールアドレス、SMSアドレス、URL、メロディ、画像、動画またはiモーション、キャラ電、iアプリのデスクトップアイコンが表示されなくなります。「PIMロック」を解除すると再び表示されます。

メロディ、画像、動画またはiモーション、キャラ電、iアプリのデスクトップアイコンから再生または表示できるのは、貼り付けたデータのみとなります。

メロディやイメージなどのデータをデスクトップアイコンとして貼り付けた場合、元のデータを削除すると、デスクトップアイコンからも呼び出すことができなくなります。


デスクトップアイコンの情報を確認します

デスクトップアイコンに貼り付けた内容やタイトルなどの情報を確認できます。

1   「ディスプレイ」▶「デスクトップ」の順に選ぶ

2 確認したいデスクトップアイコンのタイトルを選ぶ



お知らせ

URLのデスクトップアイコンの情報表示画面では、を押して画面をスクロールしてURLのすべてを確認できます。

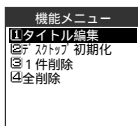
デスクトップアイコンのタイトルを変更します

デスクトップアイコンのタイトルを変更できます。

タイトルは全角で16文字、半角で32文字まで入力できます。ただし、デスクトップアイコンを選んだときに表示されるタイトルは、先頭から全角で11文字、半角で22文字までです。

1   「ディスプレイ」▶「デスクトップ」の順に選ぶ

2 変更したいタイトルを反転表示して機能メニューから「タイトル編集」を選ぶ





3 タイトルを変更する

文字の入力のしかた P.300

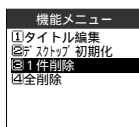
お知らせ

デスクトップアイコンのタイトルを変更しても、貼り付けた元のデータのタイトルは変更されません。また、元のデータのタイトルを変更してもデスクトップアイコンのタイトルは変更されません。

● 待受画面に貼り付けられているデスクトップアイコンを削除します ●

1   「ディスプレイ」▶「デスクトップ」の順に選ぶ



2 削除したいデスクトップアイコンを反転表示して機能メニューから「1件削除」を選ぶ



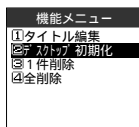
すべて削除する場合
「全削除」を選ぶ

● デスクトップアイコンをお買い上げの状態に戻します <デスクトップ初期化> ●

待受画面に貼り付けられているデスクトップアイコンを「カメラ」だけの状態に戻します。









1   「ディスプレイ」▶「デスクトップ」の順に選ぶ

2 機能メニューから「デスクトップ初期化」を選ぶ





情報を通知するデスクトップアイコン

新着メールが届いているなどの情報を、デスクトップアイコンで通知します。貼り付けたデスクトップアイコンと同じ操作で、それぞれ関連した機能呼び出すことができます。






アイコン	通知内容	操作後の表示 / 起動内容	参照ページ
	新着メールがあったことを通知します。	最新のメールが保存されている受信フォルダの受信メール一覧画面を表示します。	アプリケーション編の P.180
	不在着信があったことを通知します。	「不在着信履歴」を表示します。	P.151
	伝言メモが録音されていることを通知します。	「メモの再生 / 消去」を起動します。	P.247
	留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが入っていることを通知します。	「留守番電話」を起動します。	P.273
	めざまし時計、スケジュール、ToDoのアラーム通知ができなかったことを通知します。	通知できなかった最新のアラームの情報を表示します。	P.212
	iアプリのソフトが自動起動できなかったことを通知します。	自動起動情報画面を表示します。	アプリケーション編の P.80
	iアプリ待受画面が異常終了したことを通知します。	セキュリティエラー履歴を表示します。	アプリケーション編の P.90
	ソフトウェア更新が終了したことを通知します。	端末暗証番号を入力したあと、更新結果表示画面を表示します。	P.375


お知らせ


「」が表示されていない場合でも、留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが入っている場合があります。

「」を選ぶと、「不在着信履歴」が表示され、不在着信が音声電話かテレビ電話かをアイコンによって確認できます。


不在着信履歴に表示されるアイコンの詳細について P.153

「」、「」、「」、「」、「」が表示されているときに「PIMロック」に設定すると、これらのデスクトップアイコンは表示されなくなります。「PIMロック」を解除すると再び表示されます。

また、「PIMロック」設定中にメールの受信があった場合は、「PIMロック」解除後に「」が表示されます。

情報を通知するデスクトップアイコンを消したい場合は  を 1 秒以上押します (表示が消えるだけで内容は消去されません)。

情報を通知するデスクトップアイコンは電源を切っても消えませんが、電池パックを外すと消えます。

情報を通知するデスクトップアイコンから各機能呼び出した場合、またはメニューから各機能呼び出した場合、そのデスクトップアイコンは消えます。ただし、「」のデスクトップアイコンは伝言メモを再生または消去しないと消えません。

画面表示設定

ディスプレイにお好きな画像を表示します

お買い上げ時	待受画面：Aqua ウェイクアップ表示：熱帯魚 電話発信：スタンダード 電話着信：スタンダード メール送信：スタンダード メール受信：スタンダード 問い合わせ：スタンダード
--------	---

ディスプレイに撮影した静止画やダウンロードした画像など、お好きな画像を表示させることができます。

設定できる画面は次のとおりです。



設定項目(画面)	設定できる内容
待受画面	待受画面で表示するカレンダーや画像 を設定します。また、動画やiモーション、iアプリ待受画面を設定したり、表示をなし(OFF)に設定することもできます。
ウェイクアップ表示	電源を入れたときに表示するメッセージや画像 を設定します。また、表示をなし(OFF)に設定することもできます。
電話発信	音声電話 / テレビ電話をかけているときに表示する画像 を設定します。
電話着信	音声電話 / テレビ電話がかかってきたときに表示する画像 を設定します。
メール送信	メールを送信しているときに表示する画像 を設定します。
メール受信	メールやメッセージリクエスト / フリーを受信しているときに表示する画像 を設定します。
問い合わせ	サービス問い合わせ (P.276) やiモード問い合わせ、SMS問い合わせ(『アプリケーション編』のP.105、P.182、P.200)をしているときに表示する画像 を設定します。

：表示する画像には、静止画のほかにアニメーションや自作アニメなども選べます。

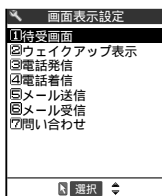
miniSDメモリーカードに保存されている画像、動画、iモーションは本機能で設定できません。

待受画面の表示を設定します

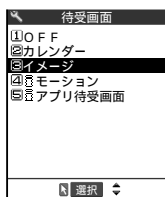
「時計設定」で日付・時刻が設定されていない場合は、「カレンダー」を選ぶことはできません。

1   「ディスプレイ」▶「画面表示設定」の順に選ぶ

2 「待受画面」を選ぶ



3 設定したい項目を選ぶ



画像などを表示しない場合

「OFF」を選ぶ

カレンダーを表示する場合

「カレンダー」を選ぶ

「背景画像あり / 背景画像なし」を選びます。

「背景画像あり」に設定した場合は、背景の画像を選びます。

画像の選びかた 『アプリケーション編』のP.300

画像を表示する場合

「イメージ」を選んで画像を選ぶ

画像の選びかた 『アプリケーション編』のP.300

動画やiモーションを表示する場合

「iモーション」を選んで動画やiモーションを選ぶ

iモーションによっては、設定できないものもあります。

動画やiモーションの選びかた 『アプリケーション編』のP.314

iアプリ待受画面を設定する場合

「iアプリ待受画面」を選んでソフトを選択する

iアプリ待受画面に設定されている場合は、「」が表示されます。

iアプリ待受画面について 『アプリケーション編』のP.85

待受画面にカレンダーを設定すると

待受画面にカレンダーが表示されます。簡単な操作で前後のカレンダーを確認したり、スケジュールを起動できます。

前後の月のカレンダーを確認する場合

待受画面表示中に●[選択]を押すか●をスライドさせてポインターをカレンダーに重ねると、カレンダーの選択状態になります。もう一度●[選択]を押すかポインターでカレンダーを選択してから○を押すと前の月のカレンダーが、○を押すと次の月のカレンダーが表示されます。



待受画面に「デスクトップアイコン」が貼り付けられている場合は、●[選択]を押すと前回使ったデスクトップアイコンまたはカレンダーが選ばれます。デスクトップアイコンが選ばれた場合は、カレンダーを選んで、もう一度●[選択]を押すかポインターでカレンダーを選択してから○または○を押すと前の月、次の月のカレンダーが表示されます。

スケジュール機能を起動する場合






カレンダーの選択状態から●[選択]を押すと、スケジュール機能が起動して表示している月のスケジュールを登録できます。

祝日は「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律(平成13年法律第59号)」に基づいています。(2004年6月現在)

お知らせ

プリンストールのアニメーションまたはイメージに登録されているアニメーションを設定した場合は、FOMA端末を開いたときにアニメーションで表示され、最初の1コマ目が待受画面として表示されます。ただし、SWF の場合は、、のいずれかのボタンを押すと再生を終了し、終了したときの画面がそのまま待受画面として表示されます。

：SWFとはFlash画像のファイル形式です。『アプリケーション編』のP.45



動画やiモーションを待受画面に設定した場合、FOMA端末を開くと動画やiモーションが再生されます。、のいずれかのボタンを押すと再生は終了します。また、マナーモード設定中には映像のみが表示されます。動画やiモーションの再生中は「」や「」、「」など待受画面の2段目に表示されるアイコンや時計、デスクトップアイコンなどは表示されません。

iモーション待受画面から「Phone To機能」、「Mail To機能」、「Web To機能」(『アプリケーション編』のP.112、P.113、P.114)を利用することはできません。

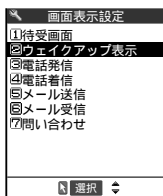
「オート表示」(P.125)を設定している場合は、「オート表示」の設定が優先され、FOMA端末を開いたときに画像は表示されません。

「iアプリ待受画面」(『アプリケーション編』のP.85)からiアプリ待受画面が設定されている場合は、「iアプリ待受画面」の設定が優先されます。

ウェイクアップ画面の表示を設定します

1   「ディスプレイ」▶「画面表示設定」の順に選ぶ

2 「ウェイクアップ表示」を選ぶ



3 設定したい項目を選ぶ



画像などを表示しない場合

「OFF」を選ぶ



メッセージを表示させる場合

「メッセージ」を選んでメッセージを入力する
 全角で50文字、半角で100文字まで登録できます。
 文字の入力のしかた P.300

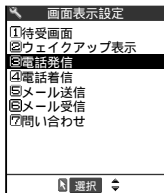
画像を表示させる場合

「イメージ」を選んで画像を選ぶ
 画像の選びかた 『アプリケーション編』のP.300

電話の着信中やメールの送信中などの画像を設定します

1   「ディスプレイ」▶「画面表示設定」の順に選ぶ

2 画像を設定したい項目を選ぶ



電話発信 : 音声電話 / テレビ電話をかけたときに表示される画像を設定します。

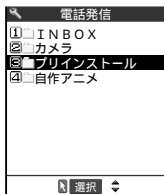
電話着信 : 音声電話 / テレビ電話がかかってきたときに表示される画像を設定します。

メール送信 : iモードメール、SMSを送信したときに表示される画像を設定します。

メール受信 : iモードメール、SMS、メッセージリクエスト、メッセージフリーを受信したときに表示される画像を設定します。

問い合わせ : サービス問い合わせ、iモード問い合わせ、SMS問い合わせを実行したときに表示される画像を設定します。


3 設定したい項目を選ぶ




お客様が作成したフォルダがある場合は、そこから画像を選ぶこともできます。

画像の選びかた 『アプリケーション編』のP.300

画像を確認する場合

確認したい項目を反転表示して  [デモ] を押す

 を押すと画像データの一覧画面に戻ります。

おしらせ

着信の設定が重なった場合の画像表示の優先順位は次のとおりです。 が最も優先順位が高くなります。ただし、着信音としてiモーションが動作した場合はそのiモーションが表示されます。

電話帳登録画像のiモーション

電話帳登録画像のイメージ

電話帳便利機能の着信イメージ

画面表示設定



グループ便利機能の着信イメージ

電話帳画像着信設定

電話帳に登録した画像の表示について設定します

お買い上げ時 ON

静止画や動画が登録されている電話帳の電話番号から音声電話やテレビ電話がかかってきたときに、画像を表示するかしないかを設定できます。

1   各種設定 ▶ 「着信」▶ 「電話帳画像着信設定」の順に選ぶ



電話帳に登録した画像を表示する場合

「ON」を選ぶ

「画面表示設定」で設定した画像を表示する場合

「OFF」を選ぶ

お知らせ

着信の設定が重なった場合の画像表示の優先順位は次のとおりです。 が最も優先順位が高くなります。ただし、着信音としてiモーションが動作した場合はそのiモーションが表示されます。

電話帳登録画像のiモーション

電話帳登録画像のイメージ

電話帳便利機能の着信イメージ

画面表示設定

グループ便利機能の着信イメージ

本機能の設定にかかわらず、シークレットデータ(P.201)の電話帳の画像は表示されません。

ピクチャ表示設定

イメージビューアの一覧画面の表示について設定します

お買い上げ時 ピクチャー一覧

「イメージビューア」に保存されている静止画を一覧で表示するとき、ピクチャ(サムネイル)で表示するか、タイトル名(ファイル名)で表示するかを設定できます。ピクチャ表示に設定すると、1画面あたり4枚ずつの画像で表示されます。

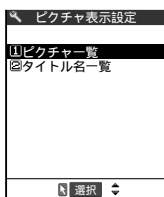
自作アニメはピクチャ(サムネイル)で表示できません。

「イメージビューア」の操作については、『アプリケーション編』のP.300をご覧ください。

1



「ディスプレイ」▶「ピクチャ表示設定」の順に選ぶ



ピクチャ(サムネイル)で一覧表示する場合

「ピクチャ一覧」を選ぶ

タイトル名(ファイル名)で一覧表示する場合

「タイトル名一覧」を選ぶ

配色パターン

ディスプレイの色を変更します

お買い上げ時 スタンダード

文字や背景など、ディスプレイの配色を選ぶことができます。

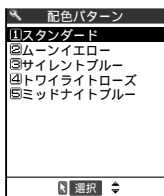
1



「ディスプレイ」▶「配色パターン」の順に選ぶ

2

設定したい配色を選ぶ



配色パターンの選択中は、選んでいる配色に合わせてディスプレイの配色が変わります。

おしらせ

アイコンや画像は本機能を変更しても色は変わりません。またiモードのサイトの画面など、本機能の設定を変更しても配色の変わらないデータや機能があります。

照明設定

バックライトの点灯方法について設定します



お買い上げ時 通常時：ON(点灯)+省電(待ち時間5分) 充電時：標準
範囲：液晶+ボタン 明るさ：レベル2

ディスプレイとダイヤルボタンのバックライトの点灯方法を設定できます。
設定できる項目は次のとおりです。

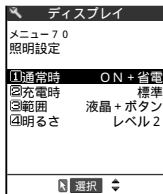
目的	設定項目		内容
バックライトの点灯/ 消灯を設定する	通常時	ON	FOMA端末を開いているとき、ディスプレイとダイヤルボタンのバックライトが約15秒間点灯します。
		OFF	ディスプレイ、ダイヤルボタンのバックライトは点灯しません。
	充電時	標準	「通常時」を「ON」にしたときと同じ設定になります。
		常時点灯	FOMA端末を開いているとき、ディスプレイとダイヤルボタンのバックライトが常に点灯します。
電池の消費を抑える	省電力モード (「通常時」の設定 から行います)	ON	設定した待ち時間経過後、待受画面およびイルミネーション・ウィンドウの表示が消えます(省電力モード)。
		OFF	省電力モードには移りません。
バックライトの点灯 範囲を設定する	範囲	液晶+ボタン	ディスプレイとダイヤルボタンのバックライトを点灯します。
		液晶	ディスプレイのバックライトのみ点灯します。
バックライトの明る さを設定する	明るさ		「レベル1(暗い)」「レベル2(標準)」「レベル3(明るい)」の3段階から設定します。

：「範囲」を「液晶」に設定した場合は、点灯しません。

<例：通常時のバックライトを設定する場合>

1   「ディスプレイ」▶「照明設定」の順に選ぶ

2 「通常時」を選ぶ



充電時のバックライトを設定する場合

「充電時」を選ぶ

バックライトの設定を「標準/常時点灯」から選びます。

バックライトの範囲を設定する場合

「範囲」を選ぶ

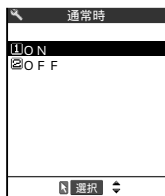
バックライトの範囲を「液晶+ボタン/液晶」から選びます。

バックライトの明るさを設定する場合

「明るさ」を選ぶ

バックライトの明るさを「レベル1~3」から選びます。

3 設定する項目を選ぶ



バックライトを点灯する場合


「ON」を選ぶ

省電力モードを「有効にする / 無効にする」(ON / OFF)から選びます。

「ON」に設定した場合は、省電力モードに移るまでの時間を02～20分の範囲で設定します。



バックライトを点灯しない場合

「OFF」を選ぶ

待受画面に「」が表示されます。


お知らせ

テレビ電話中のときは、テレビ電話の「照明設定」の設定が優先されます。

FOMA端末を開いているときに省電力モードになると、ディスプレイのバックライトが消灯し、とが約5秒間隔で点滅します。ボタン操作をすると省電力モードが解除されます。

「充電時」の設定を「常時点灯」に設定した充電状態であっても、約15秒間操作の無い場合は、充電の効率を高めるためにディスプレイのバックライトの明るさを「レベル1」にして点灯し続けます。

「充電時」を「常時点灯」、「範囲」を「液晶 + ボタン」に設定してもテレビ電話中の充電状態では、約15秒間何もしないとダイヤルボタンのバックライトが消灯します。

バックライトの点灯 / 消灯はを1秒以上押しても切り替えることができます。

ただし、文字入力中、テレビ電話中、遠隔監視中、iアプリの実行中は切り替えることはできません。また、充電中にこの操作を行っても照明設定の「充電時」の設定は変更されません。

「充電時」の設定を「常時点灯」に設定していても、充電が完了して充電ランプが消えると「通常時」の設定で動作します。

メニュー機能をひとつでも操作しているときにタスクメニューで待受画面を表示した場合や、「iアプリ待受画面」(『アプリケーション編』のP.85)設定中は省電力モードにはなりません。

着信イルミネーション

着信時の着信ランプの点滅について設定します

お買い上げ時 電話：色5 TV電話：色5 メール：色1
 メッセージリクエスト：色1 メッセージフリー：色1
 パターン設定：固定パターン カラー名：色1～12

音声電話やテレビ電話がかかってきたときや、メール、メッセージリクエスト/フリーを受信したときの着信ランプの点滅色や点滅のしかた(点滅パターン)を設定できます。また、点滅色の名前を変更したり、色合いを調節することもできます。

設定できる項目は次のとおりです。

設定項目		内容
着信イルミネーション選択	電話	音声電話や64Kデータ通信の着信をしたときの着信ランプの点滅色 ¹ を選びます。
	TV電話	テレビ電話を着信したときの着信ランプの点滅色 ¹ を選びます。
	メール	iモードメールやSMSを受信したとき、パケット通信の着信をしたときの着信ランプの点滅色 ¹ を選びます。
	メッセージリクエスト	メッセージリクエストを受信したときの着信ランプの点滅色 ¹ を選びます。
	メッセージフリー	メッセージフリーを受信したときの着信ランプの点滅色 ¹ を選びます。
パターン設定	固定パターン	着信ランプを一定の間隔で繰り返し点滅するようにします。
	メロディ運動	着信ランプをメロディ ² に合わせて点滅するようにします。
カラー設定	カラー名編集	色1～12のカラー名を変更できます。
	カラー調節	色1～12の色合いを調節できます。

1：点滅色は色1～12、グラデーションから選びます。

2：メロディに点滅パターンが設定されていない場合や着メーションの場合は、固定パターンで点滅します。

●、○の点滅のしかたは着信ランプと同じ設定になりますが、点滅色はオレンジ色のみです。

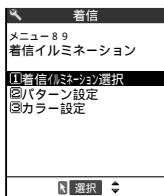
指定した電話番号やメールアドレス、グループからの着信それぞれに点滅色を設定することもできます。 P.120

1



「着信」▶「着信イルミネーション」の順に選ぶ

2 それぞれの項目を設定する



着信イルミネーション選択：

着信時の着信ランプの点滅色を設定します。

設定したい項目を「電話 / TV電話 / メール / メッセージリクエスト / メッセージフリー」から選んで点滅色を設定します。

点滅色選択中は、選んでいる色に合わせて着信ランプが点灯します。

パターン設定：

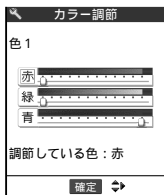
着信ランプの点滅パターンを「固定パターン / メロディ連動」から選びます。

カラー設定：

着信イルミネーションの「カラー名編集」、「カラー調節」を設定します。

「カラー名編集」は変更したい色を選んでカラー名を入力します。カラー名は全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。文字の入力のしかた P.300

「カラー調節」は色1～12から調節したい色を選んで色合いを調節します。色1～12はカラーの種類が異なるため、調節しても同じ色合いにすることはできません。また、グラデーションの調節はできません。



お知らせ

着信音に「おしゃべり機能」で録音した音声を設定している場合は、本機能の設定にかかわらず一定のパターンで点滅します。

着信音に「着信音1～3」を設定している場合は、本機能の設定にかかわらずメロディに合わせて点滅します。

遠隔監視の着信時は、本機能の設定にかかわらず点滅色は「グラデーション」、点滅パターンは「固定パターン」となります。

miniSDメモリーカードとデータのやりとりをしている間は、本機能の設定にかかわらず「色5」で点滅します。

充電中や撮影中の着信ランプの点灯および点滅は「カラー調節」の設定にかかわらず赤色になります。

通話中イルミネーション

通話中の着信ランプの点滅について設定します

お買い上げ時 OFF

音声通話中やテレビ電話中の着信ランプの点滅色を設定できます。

点滅色は、7種類の色、3種類のグラデーションから選ぶことができます。

1



「通話」▶「通話中イルミネーション」の順に選ぶ

2 設定したい点滅色を選ぶ





通話中に着信ランプを点滅させない場合
「OFF」を選ぶ

イルミネーション・ウィンドウの表示のしかたを設定します

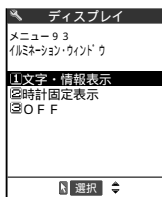
お買い上げ時

設定：文字・情報表示 コントラスト調節：レベル5
時計種類：デジタル時計 着信番号表示：ON メール表示：OFF
通話中表示：ON(バックライト：OFF)

イルミネーション・ウィンドウの時計やメッセージの表示内容を設定したり液晶濃度を調節したりできます。

1   「ディスプレイ」▶「イルミネーション・ウィンドウ」の順に選ぶ

2 表示のしかたを選ぶ

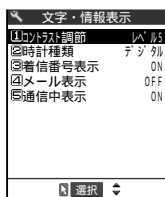


文字・情報表示：イルミネーション・ウィンドウに時計やメッセージ、アニメーションを表示します。

時計固定表示：イルミネーション・ウィンドウに時計のみを表示します。相手の電話番号などやアニメーションは表示されません。

OFF：イルミネーション・ウィンドウは表示しません。「OFF」に設定すると操作3の詳細項目は設定できません。

3 それぞれの項目を設定する



文字・情報表示の場合

- コントラスト調節：①で液晶濃度をレベル1(薄い)～9(濃い)の9段階で調節します。
 コントラストの調節中は、選んでいるレベルに合わせてディスプレイの濃度が変わります。
- 時計種類：時計の種類をアナログ時計3種類、デジタル時計1種類から選びます。
- 着信番号表示：音声電話の着信時、相手の電話番号(電話帳に登録されている場合は名前)を表示する / しない (ON / OFF)を選びます。
- メール表示：受信したメールの送信元のメールアドレスと題名、受信した日時を表示する / しない (ON / OFF)を選びます。
- 通信中表示：音声電話やテレビ電話の発信中や通話中、赤外線通信中やデータ通信中のときの状態を画像で表示する / しない (ON / OFF)を選びます。
 「ON」に設定した場合は画像を表示したときにバックライトを点灯する / しない (ON / OFF)を選びます。
- ：操作2で表示のしかたを「文字・情報表示」に設定したときのみ設定できます。

お知らせ

「着信番号表示」を「ON」に設定すると、電話帳に電話をかけてきた相手の電話番号が登録されているときは、相手の名前(登録されている名前)とアイコンが表示されます。また、相手が電話番号を通知してこないときは、その理由が表示されます。「OFF」に設定すると「着信中です」と表示されます。

新着メールを受信したときは、「メールが届いています」と表示されます。さらに、「メール表示」の設定によって次のように表示が変わります。

- ・「メール表示」を「ON」に設定している場合

[ホーム]を押すと送信元のメールアドレスと題名を表示します。もう一度[ホーム]を押すと待受画面に戻ります。また、送信元のメールアドレスが電話帳に登録されている場合は、送信元を相手の名前(登録している名前)で表示します。複数のメールを受信した場合は、最新3件分のメールアドレスまたは名前と題名を表示します(P.41)。ただし、「セキュリティ設定」(『アプリケーション編』のP.222)されたフォルダに「自動振分けアドレス」(『アプリケーション編』のP.206)が設定されている相手からのメールを受信したときは、送信元と題名は表示されません。

- ・「メール表示」を「OFF」に設定した場合

[ホーム]を押しても「メールが届いています」の表示のままとなります。

「メールが届いています」の表示は、デスクトップアイコンの「メール」を消しても消えます。

「シークレットモード」および「シークレット専用モード」のときに、シークレットデータとして電話帳に登録されている相手からのメールを受信した際に[ホーム]を押したときは、送信元(名前)と題名、受信した日付と時刻が表示されます。通常時は、送信元(メールアドレス)と題名が表示されます。

「時計種類」を「アナログ時計1~3」に設定したときの時刻表示は目安です。

「時計固定表示」に設定すると、「着信がありました」などのメッセージやスケジュール、めざまし時計のアラーム通知などのアニメーションは表示されません。



「イルミネーション・ウィンドウ」を「ソフト依存」に設定している場合、イルミネーション・ウィンドウ表示に対応したアプリを待受画面に設定すると、イルミネーション・ウィンドウの表示はそのソフトによる表示が優先されます。

イルミネーション・ウィンドウのバックライトの点灯/消灯は、「照明設定」(P.183)の「通常時」の設定に従います。ACアダプタなどの外部電源から電源を供給されているときは、「照明設定」の「充電時」の設定に従います。

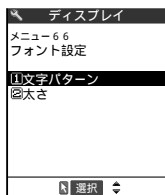
表示する文字のフォントを切り替えます

お買い上げ時 文字パターン：フォント1 太さ：中太字

ディスプレイ、イルミネーション・ウィンドウに表示される文字をお好みのフォント(書体)に切り替えることができます。

1   「ディスプレイ」▶「フォント設定」の順に選ぶ

2 設定したい項目を選ぶ



文字パターンを選ぶ場合

「文字パターン」を選ぶ

文字パターンを「フォント1 / フォント2」から選びます。

フォント1の文字例：

あいうABC123

フォント2の文字例：

あいうABC123

文字の太さを設定する場合

「太さ」を選ぶ

文字の太さを「細字 / 中太字 / 太字」から選びます。

おしらせ

「フォント2」に切り替わるのは、英字(全角、半角)、数字(全角、半角)、ひらがな、カタカナ(全角、半角)と一部の記号、ギリシャ文字、ロシア文字だけです。漢字などほかの文字はすべて「フォント1」で表示されます。また電話番号入力や時計表示などの文字も「フォント2」に切り替わりません。



iモードのサイト表示画面、iモードメールの閲覧画面、編集画面、デコメールの詳細画面、イルミネーション・ウィンドウの文字、iアプリのソフトの画面などの文字は、本機能の設定にかかわらず「細字」で表示されます。

表示を英語に切り替えます

お買い上げ時 Japanese

ディスプレイ、イルミネーション・ウィンドウに表示される各機能名やメッセージなどを日本語表示 / 英語表示に切り替えることができます。

本機能の名称は、日本語表示に設定されているときは「Language」、英語表示に設定されているときは「Select language」と表示されます。

1   「ディスプレイ」▶「Language(Select language)」の順に選ぶ



日本語表示のとき

日本語表示から英語表示に切り替える場合
「English」を選ぶ



英語表示のとき

英語表示から日本語表示に切り替える場合
「日本語」を選ぶ

お知らせ

FOMAカードを差し替えた場合は、そのカードの設定によってLanguageの設定が切り替わることがあります。

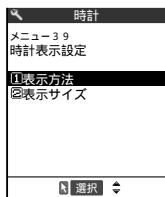
時計表示を設定します

お買い上げ時 表示方法：日本語 表示サイズ：大きく表示

待受画面の曜日の表示を日本語または英語に設定したり、時計の表示サイズを変えることができます。また、日付や時計を表示しないように設定することもできます。

1   「時計」▶「時計表示設定」の順に選ぶ

2 設定したい項目を選ぶ



時計の表示のしかたを設定する場合

「表示方法」を選ぶ

表示のしかたを「日本語 / 英語 / OFF」から選びます。

時計の表示サイズを設定する場合

「表示サイズ」を選ぶ

表示サイズを「大きく表示 / 小さく表示」から選びます。

おしらせ

「表示方法」を「OFF」に設定した場合、「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」を設定したときに待受画面に表示される「🔔」および「🔊」も表示されません。

暗証番号が活躍します

FOMA端末には、便利にお使いいただくための各種機能に暗証番号の入力が必要なものがあります(端末暗証番号)。そのほかにも、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、iモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

これらの暗証番号を万一お忘れになったときは、FOMA端末、およびご契約されたご本人であるかどうかを確認できるもの(運転免許証など)を、当社窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。

いたずら防止のため、暗証番号(ネットワーク暗証番号を除く)はご契約後にお好きな番号に変更してください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようご注意ください。

端末暗証番号

端末暗証番号とは、セキュリティ機能の設定、データの削除、設定のリセットなどを行うときに必要となる4～8桁の暗証番号です。お客様のお好みでFOMA端末から自由に端末暗証番号を変更できます。 P.194

ネットワーク暗証番号

ネットワーク暗証番号とは、一部のネットワークサービスを利用するときに必要となる4桁の暗証番号です。お買い上げのときにお客様ご自身であらかじめネットワーク暗証番号を設定できます。ネットワーク暗証番号はFOMA端末やほかの電話機等から変更することはできません。

PIN(PIN1コード、PIN2コード)

FOMAカードにはPIN1コードとPIN2コードの暗証番号を設定できます。PIN1コード、PIN2コードについて詳しくは、P.195を参照してください。

iモードパスワード



iモードパスワードとは、マイメニューの登録・削除、メッセージサービス、iモードの有料サービスのお申し込み・解約などを行うときに必要となる4桁のパスワードです。詳しくは『アプリケーション編』をご覧ください。ご契約時は「0000(数字のゼロ4つ)」に設定されています。お客様のお好みで自由にiモードパスワードを変更できます。

iモードパスワード以外にも各情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります。

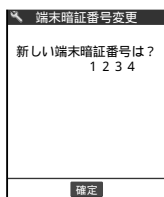
端末暗証番号を変更します

お買い上げ時 0000(数字のゼロ4つ)

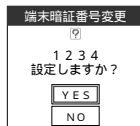
FOMA端末に登録されているお客様の大切なデータを守り、FOMA端末をより便利に使いこなしていただくために、お客様ご自身の端末暗証番号(4～8桁)を変更できます。

1   「ロック / セキュリティ」▶「端末暗証番号変更」の順に選んで、端末暗証番号を入力する

2 新しい4～8桁の端末暗証番号を入力する



3 「YES」を選ぶ



変更を中止する場合
「NO」を選ぶ

PINコードを設定します

ご契約時 PIN1コード：0000(数字のゼロ4つ)
PIN2コード：0000(数字のゼロ4つ) PIN1コード入力設定：OFF

PIN1コードとは、FOMA端末の電源を入れたときにFOMAカードを不正に使用されないための4～8桁の番号(コード)です。

PIN2コードとは、サイトやインターネット接続などのオンラインサービスなどで個人認証が必要なときに入力する4～8桁の暗証番号です。本FOMA端末では、ユーザ証明書操作時(FirstPassを利用するためのユーザ証明書の発行)や、FirstPass対応サイトに接続するときに入力します。『アプリケーション編』のP.46、P.48

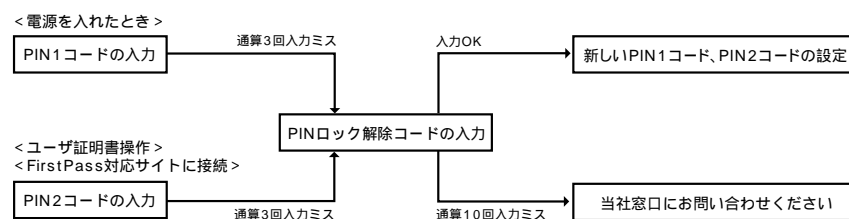
新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、これまでお使いのPIN1コード、PIN2コードをそのままご利用になれます。PIN1コード、PIN2コードはFOMAカードに登録されます。

PIN1コード、PIN2コードの入力を通算で3回誤ると自動的にPINロックされ、PINコードが使えなくなります。設定した番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようご注意ください。

FOMA契約申込書(お客様控え)にはPINロック解除コードが記載されています。PINロック解除コードとは、PIN1コード、PIN2コードがロックされたときにロックを解除するための8桁の番号です。



PINロック解除コードの入力を通算で10回誤ると、FOMAカードが完全にロックされます。FOMA契約申込書(お客様控え)をなくさないように大切に保管してください。

PINロック解除コードを忘れた場合や完全にロックされた場合は、当社窓口にお問い合わせください。

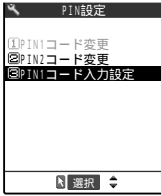


電源を入れたときにPIN1コードを入力するように設定します<PIN1コード入力設定>

FOMAカードを不正に使用されないために、電源を入れたときにPIN1コードを入力するように設定します。

- 1   「ロック/セキュリティ」▶「PIN設定」の順に選んで、端末暗証番号を入力する

2 「PIN1コード入力設定」を選ぶ



3 設定したい項目を選ぶ



電源を入れたときにPIN1コードを入力する場合

「ON」を選ぶ



電源を入れたときにPIN1コードを入力しない場合

「OFF」を選ぶ

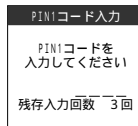
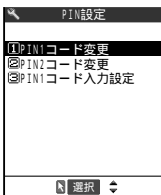
PIN1 / PIN2コードの番号を変更します

PIN1コードを変更する場合は、「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定しておいてください。

<例：PIN1コードの番号を変更する場合>

1   各種設定 ▶ 「ロック / セキュリティ」▶ 「PIN設定」の順に選んで、端末暗証番号を入力する

2 「PIN1コード変更」を選んで現在設定されている4～8桁のPIN1コードを入力する



PIN2コードを変更する場合

「PIN2コード変更」を選んで現在設定されている4～8桁のPIN2コードを入力する

3 4～8桁の新しいPIN1コードを入力する

PIN2コードを変更する場合

新しい4～8桁のPIN2コードを入力する

4 もう一度新しいPIN1コードを入力する

PIN2コードを変更する場合

もう一度新しいPIN2コードを入力する

電源を入れたときにPIN1コードを入力します

「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定した場合は、電源を入れるとPIN1コードの入力画面が表示されますので、PIN1コードを入力してください。

PIN1コードの入力画面のままでは、FOMA端末の操作ができず、次の動作も行われませんのでご注意ください。

- ・音声電話やテレビ電話の着信
- ・「スケジュール」や「ToDo」のアラーム通知
- ・メール、メッセージリクエスト/フリーの受信
- ・iアプリのソフトの自動起動
- ・ソフトウェアの予約更新

1 FOMA端末の電源を入れる

2 4～8桁のPIN1コードを入力する



PIN1コードを正しく入力すると、待受画面が表示されます。

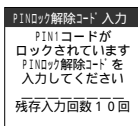
PINロックを解除します

PIN1 / PIN2コードの入力が必要な画面で、誤ったPIN1 / PIN2コードを通算で3回入力した場合は、PIN1 / PIN2コードがロックされます。その場合は、いったんPIN1 / PIN2コードのロックを解除して、新しいPIN1 / PIN2コードを設定する必要があります。

PINロック解除コードについてはFOMAご契約時にお渡しするFOMA契約申込書(お客様控え)をご確認ください。

<例：PIN1コードのロックを解除する場合>

1 8桁のPINロック解除コードを入力する



2 4～8桁の新しいPIN1コードを入力する

PIN2コードのロックを解除する場合
4～8桁の新しいPIN2コードを入力する

3 もう一度新しいPIN1コードを入力する

PIN2コードのロックを解除する場合
もう一度新しいPIN2コードを入力する

ロック機能について

FOMA端末には、ほかの人に無断で使われたり、電話帳やメールを見られたりすることを防ぐロック機能があります。

設定できる機能は次のとおりです。

目的	内容	機能名	参照ページ
ほかの人にFOMA端末を使われるのを防ぐ	電源を入れる/切る、遠隔監視の着信を受ける以外の操作ができなくなります。	オールロック	P.200
ほかの人に「電話帳」や「スケジュール」のデータを見られることを防ぐ	「電話帳」や「スケジュール」のデータを、「シークレットモード」または「シークレット専用モード」にしない限り呼び出せないシークレットデータとして登録します。また、それらのデータを呼び出します（「シークレット専用モード」ではシークレットデータのみを呼び出します）。	シークレットモード/ シークレット専用モード	P.201
ほかの人に個人情報を見られたり、書き換えられたりするのを防ぐ	「電話帳」や「スケジュール」、「メール」などの個人情報の表示や編集ができなくなります。また、「iモード」や「iアプリ」の起動ができなくなります。	PIMロック	P.204
私用電話を防ぐ	ダイヤル入力による電話の発信やメールの送信ができなくなります。電話帳に登録されている電話番号、メールアドレスおよびその発信履歴、送信アドレス一覧以外は利用できません。	ダイヤル発信制限	P.205
ほかの人に発信履歴を見られるのを防ぐ	「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」を表示できないようにします。	履歴表示設定	P.206
音声電話やテレビ電話の着信を気にしないでFOMA端末を操作する	音声電話やテレビ電話の発信、iモードの利用、メールの送受信をできないようにします。	セルフモード	P.207
ボタンの誤操作を防ぐ	サイドボタンの機能を無効にします。	サイドボタン操作	P.208

オールロック



ほかの人に使われないようにします

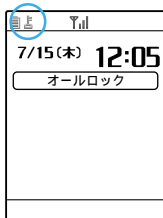
お買い上げ時 解除

オールロックをかけると電源を入れる／切る以外の操作ができなくなります。ほかの人にFOMA端末を無断で使われることを防止します。

オールロック中は音声電話やテレビ電話を受けることも、かけることもできません。オールロックは電源を切っても解除されません。

オールロックを設定します

- 1   「ロック／セキュリティ」▶「オールロック」の順に選んで、端末暗証番号を入力する

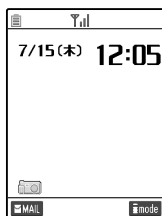
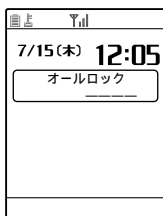


オールロックが設定されて「オールロック」と「上」が表示されます。
端末暗証番号について P.193

オールロックを解除します

オールロックの解除に5回続けて失敗すると、FOMA端末の電源が切れます。ただし、再度電源を入れることはできます。

- 1 オールロック設定中の画面で端末暗証番号を入力して  を押す



オールロックが解除されて「上」の表示が消えます。
端末暗証番号について P.193

お知らせ

オールロック中は、緊急通報番号(110番、119番、118番)にも電話をかけることができません。

待受画面にアニメーションを設定している場合、オールロック中にFOMA端末を開いたときは、アニメーションの最初の1コマのみが表示されます。

オールロック中は、音声電話やテレビ電話がかかってきても着信音は鳴りません。オールロック解除後、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。

オールロック中でも、「遠隔監視」を受けることができます。

オールロック中は、「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」で設定した時刻になってもアラームは通知されません。オールロックを解除後、「未通知アラームあり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。

オールロック中は、メッセージリクエスト/フリー、iモードメール、SMSの自動受信はできませんが、受信中の画面および受信結果の画面は表示されません。オールロックの解除後、受信した種別のアイコンが画面に表示されます。

シークレットモード/シークレット専用モード

知られたくない電話帳とスケジュールを守ります

お買い上げ時 シークレットモード：解除 シークレット専用モード：解除

ほかの人に知られたくない「電話帳」や「スケジュール」のデータは、端末暗証番号を入力しないと呼び出せないシークレットデータとして登録できます。シークレットデータにするにはシークレットモード中またはシークレット専用モード中に「電話帳」または「スケジュール」を登録します。

シークレットモードではシークレットデータも含めた「電話帳」、「スケジュール」のすべてのデータを呼び出すことができます。シークレット専用モードではシークレットデータの「電話帳」、「スケジュール」のみを呼び出すことができます。

シークレットモード中またはシークレット専用モード中に、シークレットモードまたはシークレット専用モードを設定すると、設定中のモードは解除されます。

シークレットモード中またはシークレット専用モード中に、音声電話やテレビ電話をかけたり受けたりすると、設定中のモードは解除されます。

FOMAカードにはシークレットデータとして電話帳を登録できません。

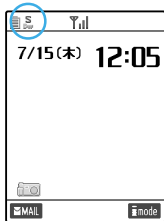
シークレットモードおよびシークレット専用モードは電源を切ると解除されます。

シークレットデータとして電話帳やスケジュールを登録します

シークレットモードおよびシークレット専用モード設定中の「電話帳」、「スケジュール」の操作方法は、シークレットモードおよびシークレット専用モードが設定されていない場合と同じです。

<例：シークレットモードで登録する場合>

1 「ロック/セキュリティ」▶「シークレットモード」の順に選んで、端末暗証番号を入力する



シークレットモードに設定されて「S」が表示されます。「ダイヤル発信制限」が同時に設定されている場合は「DS」が表示されます。
端末暗証番号について P.193

シークレットモードを解除する場合

「PWR」を押す

シークレットモードが解除されて「S」の表示が消えます。

2 「電話帳」または「スケジュール」を登録する

シークレットデータとして登録されます。

電話帳の登録のしかた P.108

スケジュールの登録のしかた P.218

おしらせ

シークレットモードでシークレットデータの「電話帳」または「スケジュール」を表示すると「S」が点滅します。

シークレットデータとして登録した「電話帳」や「スケジュール」は、シークレットモードおよびシークレット専用モードにしないと、呼び出し、修正、削除ができません。また、「スケジュール」は通常のモードでもアラーム通知は行いますが、アラームメッセージは表示されません。

シークレットデータとして「電話帳」をメモリ番号「000」-「009」に登録した場合は、シークレットモードやシークレット専用モードにしないと、「ツータッチダイヤル」で電話をかけることはできません。

シークレットデータとして登録した相手が電話番号を通知して電話をかけてきたときは、シークレットモードまたはシークレット専用モードにいても、登録されている名前は表示されません。また「着信履歴」にも通知された電話番号が記憶されますが、登録されている名前は記憶されません。

シークレットデータの「電話帳」には次の機能を設定できません。

- ・ オート表示 P.125
- ・ 電話帳指定設定 P.141
- ・ 電話帳便利機能 P.120

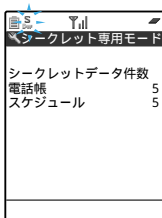
シークレットモード中に「電話帳」や「スケジュール」を修正した場合、修正したデータはシークレットデータになります。なお、シークレットモード中に電話番号やメールアドレスを1件でも修正した場合は、修正したメモリ番号に登録されているすべての電話番号やメールアドレスがシークレットデータになります。

「電話帳便利機能」が設定された「電話帳」をシークレットデータとして登録すると、その電話帳の「電話帳便利機能」の設定は解除されます。

「グループ便利機能」が設定された「電話帳」をシークレットデータとして登録すると、「グループ便利機能」の設定は無効となります。シークレットデータとして登録した「電話帳」を通常の「電話帳」に変更すると、「グループ便利機能」の設定は有効になります。

シークレットデータのみ表示します <シークレット専用モード>

1 「ロック/セキュリティ」▶「シークレット専用モード」の順に選んで、端末暗証番号を入力する




シークレット専用モードに設定されて「S」が点滅し、シークレットデータ登録件数が表示されます。「ダイヤル発信制限」が同時に設定されている場合は「DS」が点滅表示します。

約2秒たつと待受画面に戻ります。

端末暗証番号について P.193

シークレット専用モードを解除する場合

 を押す

シークレット専用モードが解除されて「S」の表示が消えます。

2 電話帳の検索またはスケジュールの確認を行う

電話帳の検索のしかた P.116

スケジュールの確認のしかた P.222

お知らせ

シークレットデータを呼び出して電話をかけたときは、「発信履歴」「リダイヤル」には記憶されません。

シークレットデータを通常のデータに戻します

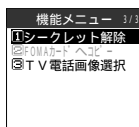
シークレットデータとして登録したデータを通常のデータに変更できます。

1 シークレットモードまたはシークレット専用モードで解除したい電話帳またはスケジュールを呼び出す

電話帳の検索のしかた P.116

スケジュールの確認のしかた P.222

2 機能メニューから「シークレット解除」を選ぶ



電話帳の場合

シークレットが解除されます。シークレットモードの場合は、「S」の点滅表示が点灯に変わります。

個人情報が表示できないようにします



お買い上げ時 解除

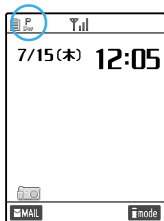
ほかの人が個人情報を見たり、書き換えたりするのを防ぐため、「電話帳」や「スケジュール」、「メール」などが起動しないように設定します。

電話帳に設定した「電話帳便利機能」、「電話帳指定設定」や音声電話/テレビ電話の発着信時の名前表示、「オート表示」は利用できません。

PIMロックを設定すると、それまでの「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」、「受信アドレス一覧」、「送信アドレス一覧」はすべて削除されます。本機能の設定後に記憶された履歴は残りますが、電話帳に登録した相手からの電話やメールでも名前は表示されません。

PIMロックは電源を切っても解除されません。

1   「ロック/セキュリティ」▶「PIMロック」の順に選んで、端末暗証番号を入力する



PIMロックが設定されて「PIM」が表示されます。「ダイヤル発信制限」が同時に設定されている場合は「PIM」が表示されます。

端末暗証番号について P.193

PIMロックを解除する場合

PIMロック中に設定と同じ操作を行う

PIMロックが解除されて「PIM」の表示が消えます。

お知らせ

PIMロック中に禁止されている操作をした場合は、PIMロック設定中であることを通知するメッセージが表示されます。

パソコンなど外部機器に接続したときはPIMロックの設定は無効になることがあります。「電話帳」を使われない場合は、「シークレットモード」または「シークレット専用モード」で登録してください。 P.201

PIMロック中は、「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」で設定した時刻になってもアラームは通知されません。PIMロックを解除後、「未通知アラームあり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。

PIMロック中は、メッセージリクエスト/フリー、iモードメール、SMSの自動受信はできませんが、受信中の画面および受信結果の画面は表示されません。PIMロックの解除後、受信した種別のアイコンが画面に表示されます。

PIMロック設定中は、動画/iモーションおよびプリインストール以外のメロディ、イメージ、キャラ電を表示または再生することはできません。動画/iモーションおよびプリインストール以外のメロディ、イメージを着信音や待受画面などに設定している場合、PIMロック中はお買い上げ時の設定で動作します。

ダイヤル発信を禁止します

お買い上げ時 解除

電話番号をダイヤルして音声電話やテレビ電話をかけることを禁止します。設定前に登録した「電話帳」と設定後の「発信履歴」、「リダイヤル」による発信だけが可能となります。

FOMA端末を会社の業務用としてお使いのときなどは、あらかじめ業務に必要な電話番号を「電話帳」に登録してから本機能を設定すると私用電話を防止できます。

ダイヤル発信制限中は次の機能や操作からの音声電話発信 / テレビ電話発信 / i モードメール作成 / SMS作成ができません。

- ・ダイヤル入力
 - ・着信履歴
 - ・受信アドレス一覧
 - ・メールメンバー
 - ・デスクトップアイコン
 - ・アクセスリーダー
 - ・バーコードリーダー
 - ・伝言メモの再生
- ダイヤル発信制限中は次のような操作ができません。

- ・電話帳の登録 / 編集 / 削除

: iアプリDX(『アプリケーション編』のP.65)によっては、FOMA端末(本体)の電話帳のグループ01~19のグループ名を変更できる場合があります。

- ・「Phone To機能」、「Mail To機能」の利用
- ・メールの宛先をダイヤルボタンで入力
- ・電話帳に登録されていないメールアドレスへの返信
- ・「赤外線通信機能」による電話帳のデータ送受信
- ・「FOMAカード操作」による電話帳のコピー、削除
- ・miniSDメモリーカードからの電話帳のインポート

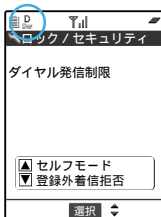
本機能を設定すると、それまでの「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」、「受信アドレス一覧」、「送信アドレス一覧」はすべて削除されます。ただし、本機能の設定後にかかってきた電話の「着信履歴」やかけた電話の「発信履歴」、「リダイヤル」および受信したメールの「受信アドレス一覧」、送信したメールの「送信アドレス一覧」は残ります。また、宛先および本文が設定された状態で保存されているメールは、宛先が削除されて本文のみのメールとなります。宛先のみ設定された状態で保存されているメールは削除されます。

ダイヤル発信制限は電源を切っても解除されません。

1



「ロック / セキュリティ」▶「ダイヤル発信制限」の順に選んで、端末暗証番号を入力する



ダイヤル発信制限が設定されて「D」が表示されます。「シークレットモード」や「シークレット専用モード」が同時に設定されている場合は「D_{PS}」、「PIMロック」が同時に設定されている場合は「D_{PP}」が表示されません。

端末暗証番号について P.193

ダイヤル発信制限を解除する場合

ダイヤル発信制限中に設定と同じ操作を行う

ダイヤル発信制限が解除されて「D」の表示が消えます。

お知らせ

ダイヤル発信制限中でも、緊急通報番号(110番、119番、118番)には直接ダイヤルして音声電話をかけることができます。

ダイヤル発信制限中に禁止されている操作をした場合は、ダイヤル発信制限設定中であることを通知するメッセージが表示されます。

ダイヤル発信制限中に挿入していたFOMAカードでも、ほかのFOMA端末に挿入すると電話帳に登録できるようになります。また、ほかのFOMA端末からは電話帳に登録されている電話番号以外にも電話をかけることができますのでご注意ください。

履歴表示設定

発信や着信の履歴を表示しないようにします

お買い上げ時 着信履歴：ON リダイヤル／発信履歴：ON

「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」、「受信アドレス一覧」、「送信アドレス一覧」を表示しないように設定できます。ほかの人に発信や着信の履歴を見られたくないときに便利です。

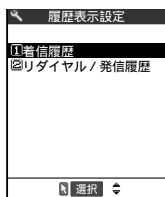
履歴を表示しないように設定したあとも、「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」、「受信アドレス一覧」、「送信アドレス一覧」の情報は記憶されます。

履歴表示設定は電源を切っても設定は変わりません。

1



「その他」▶「履歴表示設定」の順に選んで、端末暗証番号を入力する



端末暗証番号について P.193

着信履歴、受信アドレス一覧の表示について設定する場合

「着信履歴」を選ぶ


着信履歴を「表示する / 表示しない (ON / OFF) から選びます。

リダイヤル、発信履歴、送信アドレス一覧の表示について設定する場合

「リダイヤル／発信履歴」を選ぶ

リダイヤル／発信履歴を「表示する / 表示しない (ON / OFF) から選びます。

お知らせ

「着信履歴」の表示を「OFF」に設定している場合に不在着信があっても、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。「不在着信あり」のデスクトップアイコンから「着信履歴」を表示しようとしたときは、履歴表示が「OFF」に設定されていることを通知するメッセージが表示されます。この場合、デスクトップアイコンは消えません。「不在着信あり」のデスクトップアイコンを消すには  を1秒以上押します。

「着信履歴」の表示を「OFF」に設定しているときでも「伝言メモ」は再生できます。

発信や着信ができないようにします

お買い上げ時 解除



音声電話やテレビ電話の発信、iモードの利用、メールの送受信ができないように設定できます。音声電話やテレビ電話の着信などを気にしないでFOMA端末を操作したいときに便利です。


セルフモード中に音声電話やテレビ電話がかかってくると、相手には電波が届かないか電源が入っていないことを通知するガイダンスが流れます。なお、「留守番電話サービス」(P.273)、「転送でんわサービス」(P.278)をご利用の場合は、FOMA端末の電源を切っているときと同じサービスをご利用になれます。

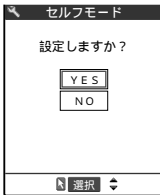
セルフモード中は、「不在着信あり」などのデスクトップアイコンによるお知らせもありません。

セルフモード中は、赤外線通信や外部機器によるデータ通信もできません。

セルフモードは電源を切っても解除されません。

1   「ロック/セキュリティ」▶「セルフモード」の順に選ぶ

2 「YES」を選び、 [選択] を押す



セルフモードが設定されて「self」が表示されます。

セルフモードを設定しない場合

「NO」を選ぶ

セルフモードを解除する場合

セルフモード中に設定と同じ操作を行う

セルフモードが解除されて「self」の表示が消えます。

お知らせ

セルフモード中でも、緊急通報番号(110番、119番、118番)には音声電話をかけることができます。緊急通報番号に音声電話をかけると、セルフモードは解除されます。

セルフモード中に禁止されている操作をした場合、セルフモード設定中であることを通知するメッセージが表示されます。


セルフモード中に送られてきたメッセージリクエスト/フリーやiモードメールはiモードセンターで、SMSはSMSセンターでお預かりします。セルフモードを解除後、「iモード問い合わせ」および「SMS問い合わせ」(『アプリケーション編』のP.105、P.182、P.200)を行ってメッセージリクエスト/フリー、iモードメール、SMSを受信してください。


セルフモード中は、通信が必要なiアプリを起動できない場合があります。

折り畳んでいるときのサイドボタンを無効にします

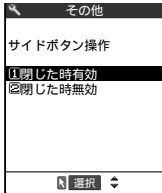
お買い上げ時 | 閉じた時有効

FOMA端末を折り畳んでいるときに、かばんの中などでの誤操作を防ぐためにサイドボタンの機能を無効にできます。


次のような場合は、本機能の設定にかかわらずサイドボタンの機能は有効になります。ただし、を1秒以上押してのカメラ起動はできません。

- ・FOMA端末を開いているとき
 - ・スイッチ付イヤホンマイク(別売品)を接続しているとき
 - ・外部接続端子にパソコンなどを接続し、画面に「」が表示されているとき
- サイドボタン設定は電源を切っても設定は変わりません。

1



サイドボタンの機能を有効にする場合
「閉じた時有効」を選ぶ

サイドボタンの機能を無効にする場合
「閉じた时无効」を選ぶ
待受画面に「」が表示されます。

おしらせ

本機能は、を押したあと、を1秒以上押して有効と無効を切り替えることもできます。

本機能を「閉じた时无効」に設定すると、「確認機能設定」(P.77)を「電子音」または「ボイス」に設定していても、FOMA端末を折り畳んだ状態での不在着信や新着メールの確認はできません。また、「不在着信履歴」(P.151)も確認できません。

本機能を「閉じた时无効」に設定していても、サイドボタンを押すとイルミネーション・ウィンドウのバックライトは点灯します。

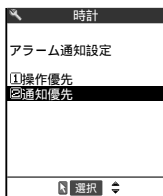
本機能を「閉じた时无効」に設定すると、FOMA端末を折り畳んだ状態での静止画の撮影(シャッターやライトの操作)ができなくなります。

アラーム通知を利用します

お買い上げ時 通知優先

「めざまし時計」(P.213)、「スケジュール」(P.216)、「ToDo」(P.228)でアラームを通知するとき、「操作優先」にするか「通知優先」にするかを設定できます。「操作優先」に設定すると、待受画面表示中のときのみアラームを通知します。FOMA端末の操作中にアラームを通知したくない場合に設定します。「通知優先」に設定すると、FOMA端末の操作中や通話中でもアラームを通知します。どのような場合でもアラームで通知してほしい場合に設定します。

1  「時計」▶「アラーム通知設定」の順に選ぶ



操作を優先する場合

「操作優先」を選ぶ

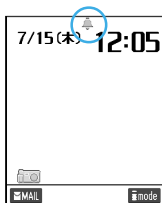
アラーム通知を優先する場合

「通知優先」を選ぶ

アラーム通知の動作

「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」でアラーム通知を設定すると、待受画面にアラーム通知の設定を示すアイコンが表示されます。設定した時刻になると、それぞれの機能に応じてアラームを通知します。

アラーム通知を設定すると



「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」でアラーム通知を設定すると、待受画面にアイコンが表示されます。

当日の設定(過ぎた時刻の設定は除く)がある場合

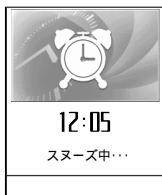
「🔔」が表示されます。

明日以降の設定がある場合

「🔔」が表示されます。

設定した時刻になると

各機能ごとに次のような動作でアラームを通知します。



めざまし時計の場合







スケジュールの場合



ToDoの場合

アラームで通知できる機能を利用する

アラーム通知の利用

状態	機能名	
	めざまし時計	スケジュール、ToDo
待受画面表示中	「スヌーズ通知しない」に設定している場合は、アラーム音が約5分間繰り返し鳴ります。「スヌーズ通知する」に設定している場合は、アラーム音が約1分間繰り返し鳴り、その動作を約5分おきに6回まで繰り返します。ディスプレイ、イルミネーション・ウィンドウにはアニメーションが表示されます。	アラーム音が約5分間繰り返し鳴り、ディスプレイ、イルミネーション・ウィンドウにはアニメーションが表示されます。
電源が切れている	設定した時刻になってもアラームを通知しません。電源を切ったまま設定時間を過ぎると、繰り返しなし(「設定なし」)の場合、設定は「OFF」になります。繰り返しあり(「毎日」、「曜日指定」)の場合は、翌日以降の設定は継続されます。	設定した時刻になってもアラームを通知しません。ただし設定はそのまま残ります。
通話中	受話口から時刻アラーム音(ピッピ...)が3回繰り返し鳴ります。ディスプレイにはアニメーションが表示されます。	
電話の着信中 / 発信中	「通話中」の場合と同じようにアラームを通知します。着信中のときは、電話に出たときに「通話中」の場合と同じようにアラームを通知します。	
iモード中 / メール送受信	「待受画面表示中」の場合と同じようにアラームを通知します。	
赤外線通信機能またはSD-PIM機能の操作中、OBEXによるデータ送受信中	設定した時刻になってもアラームを通知しません。データ通信終了後、待受画面に「  (未通知アラームあり)」のデスクトップアイコンが表示されます。 P.212	
イヤホンマイク接続中(「イヤホン切替」を「イヤホン」に設定している場合)	イヤホンからアラーム音が約20秒間鳴ります。約20秒たつとアラーム音がイヤホンとスピーカの両方から鳴ります。ディスプレイ、イルミネーション・ウィンドウにはアニメーションが表示されます。	
PIN1コード入力設定が「ON」に設定されていて、電源を入れた後のPIN1コード入力画面を表示しているとき	「待受画面表示中」の場合と同じようにアラームを通知します。アラーム通知の画面表示を消すと、PIN1コード入力画面に戻ります。	正しいPIN1コードを入力した後にアラームを通知します。
オールロック中 / PIMロック中	設定した時刻になってもアラームを通知しません。オールロック / PIMロック解除後、待受画面に「  (未通知アラームあり)」のデスクトップアイコンが表示されます(P.212)。オールロック中 / PIMロック中で電源も切っている場合は、設定した時刻になっても電源は入らず、オールロック / PIMロック解除後も「  (未通知アラームあり)」のデスクトップアイコンは表示されません。	設定した時刻になってもアラームを通知しません。オールロック / PIMロック解除後、待受画面に「  (未通知アラームあり)」のデスクトップアイコンが表示されます。 P.212



：「スケジュール」および「ToDo」のアラーム通知時に表示されるアニメーションは、設定したアイコンやカテゴリーによって変わります。

「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」のアラーム通知が同じ時刻に設定されている場合、優先順位は次のとおりです。が最も優先度が高くなります。

めざまし時計

ToDo

スケジュール

アラーム通知できなかった場合は、待受画面に「 (未通知アラームあり) のデスクトップアイコンを表示してお知らせします。ただし、電源を切っている場合は、「 (未通知アラームあり) のデスクトップアイコンは表示されません。

シークレットデータとして登録された「スケジュール」のアラーム通知では、シークレットのアニメーションが表示され、アラームメッセージは表示されません。「シークレットモード」または「シークレット専用モード」設定中のアラーム通知では、登録されたメッセージとアニメーションが表示されます。アラーム音は「シークレットモード」、「シークレット専用モード」にかかわらず、設定されたアラーム音が鳴ります。

「スケジュール」、「ToDo」のアラーム音の音量は、「着信音量 (P.79) の「電話 / TV電話」で設定した音量になります。

通話中の時刻アラーム音の音量は、「受話音量 (P.78) で設定した音量になります。

マナーモード設定中のアラーム音の音量は、「マナーモード選択 (P.136) で設定した音量になります。

「バイブレータ」を「OFF」以外に設定している場合は、アラーム音と振動でお知らせします。


アラーム音を止めるには

めざまし時計のアラーム音

「スヌーズ通知しない」に設定している場合

いずれかのボタンを押すとアラーム音は停止し、アニメーションは静止画になります。もう一度いずれかのボタンを押すと、「ピピッ」という解除音が鳴り、表示を消すことができます。

「スヌーズ通知する」に設定している場合

いずれかのボタンを押すとアラーム音は停止し、アニメーションは静止画になり、アラームメッセージは「スヌーズ中・・・」と表示されます。「スヌーズ中・・・」の表示中は約5分たつと再度アラームを通知します。「スヌーズ中・・・」にを押すと、「ピピッ」という解除音が鳴りスヌーズが解除されます。

スケジュール、ToDoのアラーム音


いずれかのボタンを押すとアラーム音は停止し、アニメーションは静止画になり、アラームメッセージは表示されたままになります。もう一度いずれかのボタンを押すと、アラームメッセージは消えます。ただし、FOMA端末を閉じた状態でサイドボタンを押した場合は、アラーム通知の画面は消えません。

アラーム通知中に電話がかかってきた場合

アラーム通知を停止して着信の動作になります。「めざまし時計」のスヌーズも解除されます。

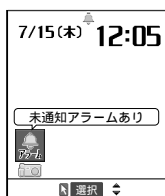
「ボタン確認音 (P.168) を「OFF」に設定している場合、スヌーズ通知の解除音は鳴りません。

通知できなかったアラームの内容を確認します


アラームを通知できなかった場合は、待受画面に「 (未通知アラームあり) のデスクトップアイコンが表示されます。デスクトップアイコンから通知できなかったアラームの内容(未通知アラーム情報)を確認できます。


未通知アラーム情報は、「めざまし時計」・「スケジュール」・「ToDo」のいずれか1件の最新の内容が記憶されます。


1 待受画面でを押して「」を選ぶ



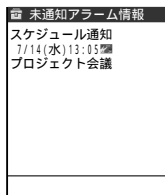
「めざまし時計」・「スケジュール」・「ToDo」の未通知アラーム情報が表示されます。


「」のデスクトップアイコンを消す場合

 を1秒以上押す

「」のデスクトップアイコンを消すと、未通知アラーム情報は確認できなくなります。

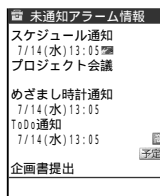
2 内容を確認したらを押す



待受画面に戻り、「 (未通知アラームあり) のデスクトップアイコンは消えます。

お知らせ

「めざまし時計」・「スケジュール」・「ToDo」のアラーム通知が同じ時刻に設定されていてアラームを通知できなかった場合は、それぞれの未通知アラーム情報が表示されます。



めざまし時計を利用します

お買い上げ時 OFF

FOMA端末をめざまし時計として利用できます。設定した時刻になるとアラーム音とアニメーションでお知らせします。電源を切っている状態では設定した時刻になっても、自動的に電源が入ったり、時刻を通知することはありません。

めざまし時計は3件まで登録でき、そのうちの1件を有効にできます。

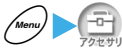
あらかじめ「時計設定」で日付・時刻を設定しておいてください。 P.65

「PIMロック」設定中はめざまし時計を設定できません。

めざまし時計のアラーム通知については、P.209を参照してください。

めざまし時計の時刻を設定します

1

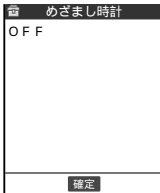


アクセサリ

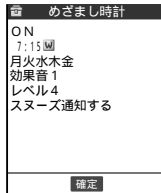
▶「めざまし時計」の順に選ぶ

2

●[確定]を押す



めざまし時計が設定
されていない場合



めざまし時計が設定
されている場合

登録されているめざまし時計の一覧
画面が表示されます。

めざまし時計が1件も登録されて
いない場合

めざまし時計の登録がはじまりま
す。操作4に進んでください。

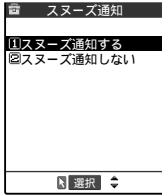
3

< 未登録 > を反転表示して ●[編集]を押す



すでに登録されているめざまし時計の内容を変更する場合
時刻が表示されている項目を反転表示して ●[編集]を押す



4 それぞれの項目を順番に設定する



- 時刻入力 : アラームを鳴らす時刻を入力します。
- 繰り返し : めざまし時計の繰り返しを設定します。「設定なし」に設定すると、めざまし時計を設定したその日のみアラームを鳴らします。「毎日(**D**)」に設定すると、毎日設定した時刻にアラームを鳴らします。「曜日指定(**W**)」に設定すると、毎週指定したすべての曜日にアラームを鳴らします。
- アラーム音 : アラーム音を「INBOX」フォルダ、お客様が作成したフォルダ、「ブリンストール」フォルダ(「時刻アラーム音(ピッピビ、ピッピビ)」、「着信音1~3」、「メロディ」、「効果音」、「おしゃべり」、「OFF」から選びます。
音の選びかた P.163
- めざまし音量 : アラーム音の音量を「ステップ」、「1~6」、「消去」の8段階から設定します。「ステップ」に設定すると、アラーム音がだんだん大きくなります。「1~6」は数値が大きいほど音量が大きくなります。「消去」に設定すると、アラーム音は鳴りません。
- スヌーズ通知 : スヌーズ通知(繰り返し通知)のする/しないを設定します。「スヌーズ通知する」に設定すると、アラーム音が約1分間繰り返し鳴り、その動作を約5分おきに6回まで繰り返します。「スヌーズ通知しない」に設定すると、アラーム音が約5分間繰り返し鳴ります。

めざまし時計の設定を変更します

めざまし時計の設定をほかに登録されている項目に変更できます。

1   「めざまし時計」の順に選ぶ

2  [確定]を押す

登録されているめざまし時計の一覧画面が表示されます。


3 設定したい項目を選ぶ



めざまし時計の設定をOFFにする場合

「OFF」を選ぶ



設定内容を変更する場合

変更したい項目を反転表示して  「編集」を押す

めざまし時計の設定を解除します

めざまし時計の登録内容を削除できます。

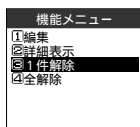
現在めざまし時計に設定している項目を削除した場合は、めざまし時計の設定が「OFF」になります。

1   「めざまし時計」の順に選ぶ

2  「確定」を押す

登録されているめざまし時計の一覧画面が表示されます。

3 削除したい項目を反転表示して機能メニューから「1件解除」を選ぶ



すべての項目の登録内容を削除する場合

「全解除」を選ぶ

スケジュール機能を利用します

アラームで通知できる機能を利用する

スケジュールを登録しておく、設定した日時にアラーム音が鳴り、アラームメッセージとアニメーションで登録した内容をお知らせします。また、休日や記念日も登録できます。登録したスケジュールや休日はカレンダーでひとめで確認できます。また、カレンダーは1ヶ月表示と1週間表示に切り替えることができ、当日のスケジュールの件数や用件が表示されます。定例会議などの定期的なスケジュールを毎週決まった曜日に登録しておいたり、スケジュールの内容に合わせたアラーム音やアニメーションを設定したり、1日に複数のスケジュールを登録したりなど、いろいろな方法でスケジュールを管理できます。

スケジュール、休日、記念日はそれぞれ100件まで登録できます。ただし、お買い上げのときに登録されている国民の祝日は休日の登録件数に含まれません。

スケジュールは1日に複数の件数を登録できます。休日、記念日は1日に1件のみ登録できます。



あらかじめ「時計設定」で日付・時刻を設定しておいてください。 P.65

スケジュールのアラーム通知については、P.209を参照してください。

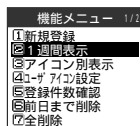
スケジュールの表示を切り替えます

お買い上げ時 1ヶ月表示

スケジュールを表示するカレンダーには「1ヶ月表示」と「1週間表示」の2種類があります。🔄を押して確認したい日付を反転表示させると、選んだ日付に登録されているスケジュールの件数やアイコンを確認できます。

1   「スケジュール」の順に選ぶ

2 機能メニューから項目を選ぶ



1ヶ月表示から1週間表示に切り替える場合

「1週間表示」を選ぶ

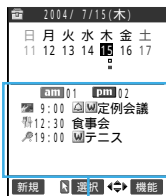
1週間表示から1ヶ月表示に切り替える場合

「1ヶ月表示」を選ぶ

カレンダーの表示内容



当日の午前と午後に登録されているスケジュールの件数とアイコンを表示します。



当日の午前と午後を設定されているスケジュールの件数、アイコン、スケジュール内容を表示します。

青色の日付：土曜日を示します。

赤色の日付：日曜日・祝日を示します。

○：記念日を示します。

—：当日を示します。

：午前のスケジュールが登録されていることを示します。

：午後のスケジュールが登録されていることを示します。

お知らせ

「画面表示設定」の「待受画面」に「カレンダー」を設定した場合、待受画面に表示されるカレンダーでは記念日に登録した日付に「○」は表示されません。

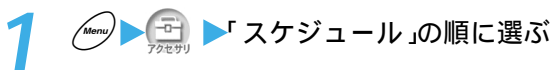
登録したスケジュールのアイコンを「休日」アイコンに設定した場合、そのスケジュールが登録されている日付は休日を示す赤色ではなく、スケジュールを示す「（午前）」「（午後）」が表示されます。

祝日は「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律（平成13年法律第59号）」に基づいています（2004年6月現在）。祝日の変更・新設された場合は、休日を登録してください。休日は内容を変更したり、削除したり、元の登録内容にリセットしたりできます。

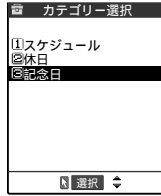
休日や記念日を登録します

誕生日や結婚記念日、新しく制定された祝日などを休日や記念日として登録します。休日に登録した日付はカレンダー画面で赤色に表示されます。記念日に登録した日付はスケジュール機能のカレンダー表示で「○」が表示されます。

< 例：記念日を設定する場合 >

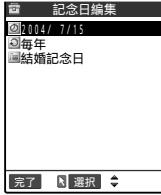


2 [新規]を押して「記念日」を選ぶ



休日を登録する場合
「休日」を選ぶ

3 それぞれの項目を設定する



- 📅 年月日 : 休日、記念日に登録する年月日を入力します。
- 🔄 繰り返し : 休日、記念日の繰り返しを設定します。「設定なし」に設定すると、登録した休日、記念日をその年のみ設定します。「毎年()」に設定すると、登録した休日、記念日を毎年の休日、記念日として設定します。
- 💬 メッセージ(休日、記念日の内容)
: 休日、記念日の内容を入力します。メッセージは全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。
文字の入力のしかた P.300

4 [完了]を押して記念日を登録する

おしらせ

設定した年月日にすでに休日、記念日が登録されている場合は、上書きするかどうかのメッセージが表示されます。
うるう年の2月29日に「毎年」の繰り返しを設定した場合は、2月29日のある年のみ休日、記念日が設定されます。

スケジュールを登録します

旅行や約束などの用件をスケジュールとして登録しておく、設定した日時にアラーム音やアニメーションでお知らせします。

設定した日時を過ぎてもスケジュールは自動的に削除されません。101件目のスケジュールを登録しようとした場合は、登録できないことを通知するメッセージが表示されます。不要なスケジュールを削除して登録し直してください。

「アラームメッセージ(スケジュールの内容)」は必ず入力してください。「アラームメッセージ」を入力していない場合はスケジュールの登録ができません。

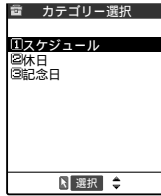
1



「スケジュール」の順に選ぶ

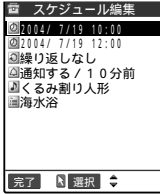
2

「新規」を押して「スケジュール」を選ぶ



3

それぞれの項目を設定する



- 開始日時 : スケジュールの開始日時を入力します。
- 終了日時 : スケジュールの終了日時を入力します。開始日時以降の日時を入力してください。
- 繰り返し設定 : スケジュールの繰り返しを設定します。「設定なし」に設定すると、スケジュールを設定したその日のみアラームを鳴らします。「毎日(D)」に設定すると、毎日設定した時刻にアラームを鳴らします。「曜日指定(W)」に設定すると、毎週指定したすべての曜日にアラームを鳴らします。
- アラーム通知設定 : 開始時刻になったときのアラームの通知について設定します。「通知する」に設定すると、設定した開始日時にアラームを通知します。「事前通知する」に設定すると、開始時刻の何分前にアラームを通知するかを01～99分の範囲で設定し、その時間にアラームを通知します。「通知しない」に設定すると、開始時刻になってもアラームを通知しません。
- アラーム音 : アラーム音を「INBOX」フォルダ、お客様が作成したフォルダ、「プリインストール」フォルダ(「時刻アラーム音」(ビッピビ、ビッピビ)、「着信音1～3」、「メロディ」、「効果音」)、「おしゃべり」、「OFF」から設定します。
- アラームメッセージ(スケジュール内容) : アラーム通知時に画面に表示するメッセージを入力してアイコンを選びます。メッセージは全角で256文字、半角で512文字まで入力できます。
文字の入力のしかた P.300

4

「完了」を押してスケジュールを登録する

お知らせ

同じ日付の同じ時刻に2つのスケジュールを登録しようとした場合は、上書きするかどうかのメッセージが表示されます。

同じ日付の同じ時刻に登録できるのは「繰り返し(毎日/曜日指定)」と「繰り返しなし(設定なし)」の組み合わせのみです。このような場合は「繰り返しなし」のスケジュールが優先されます。

開始日時で設定した日付の曜日と曜日指定繰り返しで指定した曜日が違う場合は、曜日指定繰り返しの曜日が優先され、スケジュールは開始日時に降の最初の曜日に登録されます。

音声通話中にスケジュールを登録する場合、アラーム音選択中にアラーム音は鳴りません。

シークレットデータとして登録されたスケジュールは、「シークレットモード」または「シークレット専用モード」にしないと表示されません。 P.201

待受画面にカレンダーを設定している場合は、カレンダーからスケジュールを登録できます。

P.178



アラームで通知できる機能を利用する

お願い



登録したスケジュールの内容は、別にメモを取ったり、miniSDメモリーカード(『アプリケーション編』のP.363)を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト(『アプリケーション編』のP.472)とUSB接続ケーブル(別売)を利用して、スケジュールの内容をパソコンに保管することもできます。

FOMAの故障・修理やその他の取扱いによって、登録したスケジュールの内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え登録したスケジュールの内容は、別にメモをお取りくださるようお願いいたします。

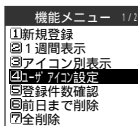
お好みの画像をユーザアイコンとして設定します

「イメージビューア(『アプリケーション編』のP.300)に登録されている画像やアニメーションをユーザアイコンとして設定できます。設定したユーザアイコンは、アイコン選択の画面で「」~「」と表示されます。ユーザアイコンを設定すると、アラーム通知時に設定した画像やアニメーションが表示されます。また、イルミネーション・ウィンドウには「☆」が表示されます。

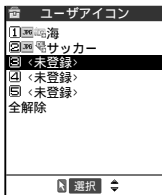
ユーザアイコンは最大5件まで設定できます。

1   「スケジュール」の順に選ぶ

2 機能メニューから「ユーザアイコン設定」を選ぶ



3 <未登録> を選ぶ



すでに設定されているユーザアイコンを変更する場合

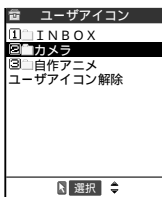
すでに設定されている項目を選ぶ

ユーザアイコンの設定をすべて解除する場合

「全解除」を選ぶ

すでにユーザアイコンが設定されている場合のみ解除できます。

4 画像が保存されているフォルダを選ぶ



お客様が作成したフォルダがある場合は、そこから画像を選ぶこともできます。

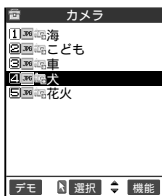
画像の選びかた 『アプリケーション編』のP.300

選んだ項目のユーザアイコンを解除する場合


「ユーザーアイコン解除」を選ぶ

すでにユーザアイコンが設定されている項目を選んだ場合のみ解除できます。

5 設定したい項目を選ぶ



プレビュー表示する場合

表示したい項目を反転表示して  デモ を押す

タイトル名の一覧表示に切り替える場合


機能メニューから「タイトル名一覧」を選ぶ

4枚ずつの画像表示に切り替える場合

機能メニューから「ピクチャー一覧」を選ぶ



おしらせ

ユーザアイコンに設定した画像が画面に表示しきれない場合は、「イメージビューア」の「切り出し範囲」(『アプリケーション編』のP.309)で設定した範囲が表示されます。

スケジュールで使用されているユーザアイコンを変更または解除しようとしたときは、解除するかどうかのメッセージが表示されます。ユーザアイコンを変更または解除すると、そのユーザアイコンを使用していたスケジュールのアイコンは「」になります。

スケジュールの内容を確認します

詳細画面を表示して登録したスケジュールの内容を確認できます。

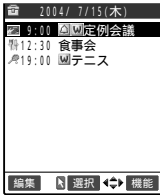
1   「スケジュール」の順に選ぶ

2 内容を確認したいスケジュールが登録されている日付を選ぶ










登録されているスケジュールが一覧で表示されます。

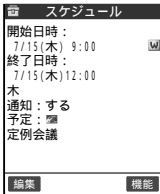
3 内容を確認したい項目を選ぶ



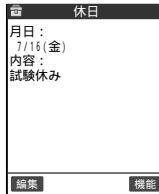
一覧表示では次のようなアイコンが表示されます。

-  : 設定したスケジュールアイコンが表示され、スケジュールが登録されていることを示します。
-  : 休日が登録されていることを示します。
-  : 記念日が登録されていることを示します。
-  : アラーム通知が設定されていることを示します。
-  : 毎日繰り返し設定されていることを示します。
-  : 曜日指定繰り返し設定されていることを示します。
-  : 毎年指定繰り返し設定されていることを示します。

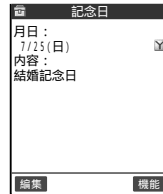
4 内容を確認する



スケジュールの詳細画面



休日の詳細画面





記念日の詳細画面

おしらせ

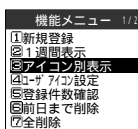
シークレットデータとして登録されたスケジュールは、「シークレットモード」または「シークレット専用モード」に設定しないと表示されません。

スケジュールをアイコン別に表示します

登録時に設定したアイコンや休日、記念日ごとにスケジュールを表示できます。

1   「スケジュール」の順に選ぶ

2 機能メニューから「アイコン別表示」を選ぶ



3 アイコンを選ぶ





選んだアイコンが設定されているスケジュールが一覧で表示され
ます。

お知らせ

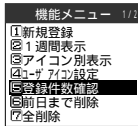
アイコン別一覧画面では、繰り返しを設定しているスケジュール(「D」または「W」)は1件の項目として表示されます。日付は、今後のスケジュールで最も近い日付が表示されます。

登録件数を確認します

登録されているスケジュールの件数や登録できる残り件数などを確認できます。
シークレットデータの登録件数はスケジュールの登録件数に含まれます。

1   「スケジュール」の順に選ぶ

2 機能メニューから「登録件数確認」を選ぶ



3 スケジュールの登録件数を確認する

種別	スケジュール
スケジュール登録件数	21/100
休日登録件数	6/100
記念日登録件数	13/100
シークレット	8

スケジュール登録件数 : スケジュールの登録件数を表示します。
登録されている件数 / 最大登録件数

休日登録件数 : 休日の登録件数を表示します。
登録されている件数 / 最大登録件数

記念日登録件数 : 記念日の登録件数を表示します。
登録されている件数 / 最大登録件数

シークレット : シークレットデータとして登録されたスケジュールの登録件数を表示します。

アラームで通知できる機能を利用する

スケジュール

おしらせ

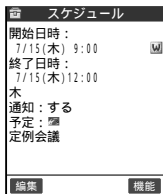
シークレットデータの登録件数は、「シークレットモード」または「シークレット専用モード」に設定しないと表示されません。

スケジュールの内容を変更します

1 内容を変更したいスケジュールの詳細画面を表示する

詳細画面の表示のしかた P.222


2 [編集] を押す



スケジュールの編集のしかた P.218

祝日をリセットする

あらかじめ登録されている国民の祝日を削除しても、リセットして元の登録内容に戻すことができます。「1ヶ月表示」または「1週間表示」画面で、機能メニューから「祝日リセット」を選びます。

スケジュールの一覧画面で  [編集] を押しても、スケジュールの内容を変更できます。

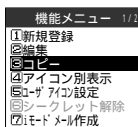
スケジュールをコピーします

内容が似ているスケジュールを新しく登録する場合などは、すでに登録されているスケジュールの内容をコピーして登録できます。「開始日時」以外は登録内容がそのままコピーされます。

1 コピー元のスケジュールの詳細画面を表示する

詳細画面の表示のしかた P.222

2 機能メニューから「コピー」を選ぶ



3 新しいスケジュールを登録する



最初に開始時刻の設定画面が表示されます。開始時刻を設定すると、スケジュールの登録画面が表示されます。必要に応じて項目を設定してください。

スケジュールの登録のしかた P.218

コピー元のスケジュールで「繰り返し設定」が「毎日 (D)」または「曜日指定 (W)」に設定されていても、コピー先では「設定なし(繰り返しなし)」に変更されます。

スケジュールを削除します

登録されているスケジュール、休日、記念日を1件ずつ削除したり、すべて削除したりできます。

削除の方法は次のとおりです。

削除の方法	内容	実行できる画面
1件削除	選んだ項目を1件のみ削除します。	一覧画面 詳細画面
前日まで削除	選んだ日付より前の項目をすべて削除します。「スケジュール」、「休日」、「記念日」、「すべて」から選びます。	カレンダー画面 一覧画面 詳細画面
選択削除	削除するスケジュールをチェックボックスで選び、選んだスケジュールのみ削除します。	一覧画面 詳細画面
全削除	選んだ項目の内容をすべて削除します。「スケジュール」、「休日」、「記念日」、「すべて」から選びます。	カレンダー画面

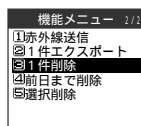
「前日まで削除」および「選択削除」では、お買い上げのときに登録されている祝日は削除されません。また「全削除」では、祝日はリセットされてお買い上げのときの登録内容に戻ります。

スケジュールを1件削除します

1 削除したい項目が登録されている日付の一覧画面を表示する

一覧画面の表示のしかた P.222

2 削除する項目を反転表示して機能メニューから「1件削除」を選ぶ

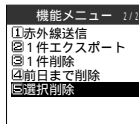


選択したスケジュールのみを削除します

1 削除したい項目が登録されている日付の一覧画面を表示する

一覧画面の表示のしかた P.222

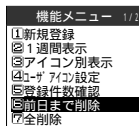
2 機能メニューから「選択削除」を選んで削除するスケジュールを選ぶ



スケジュールをまとめて削除します

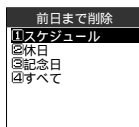
1 「スケジュール」の順に選ぶ

2 日付を選んで機能メニューから「前日まで削除」を選ぶ



すべてのスケジュールを削除する場合
機能メニューから「全削除」を選ぶ

3 削除する項目を選ぶ



すべての項目を削除する場合
「すべて」を選ぶ

おしらせ

繰り返し(毎日/曜日指定)が設定されているスケジュールを1件削除または選択削除しようとした場合、繰り返しの予定を削除するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選ぶと繰り返しのスケジュールがすべて削除されます。

前日まで削除を行った場合、繰り返し(毎日/曜日指定)が設定されているスケジュールは、選んだ前日までのスケジュールが削除され、選んだ日以降のスケジュールは残ります。

スケジュールをアイコン別に表示した場合、機能メニューから「選択削除」を選ぶと、アイコン別表示を行う前の画面で選んでいた日付の一覧画面での選択削除画面を表示します。アイコン別表示画面での選択削除はできません。

用件などをリストにします

用件などを登録しておくことで、設定した期日にアラーム音が鳴り、アラームメッセージとアニメーションで用件をお知らせします。また、期日が過ぎた用件のアイコンは赤色で表示します。内容や期日など6つのカテゴリーに分けて用件を管理したり、優先度をつけて重要な用件の順に確認したり、「予定」や「完了」などの状態を設定してある特定の状態にある用件のみを抽出して確認したりなど、いろいろな方法で用件を管理できます。

ToDoには100件まで用件を登録できます。

あらかじめ「時計設定」で日付・時刻を設定しておいてください。 P.65

ToDoのアラーム通知については、P.209を参照してください。

ToDoをデスクトップアイコンとして貼り付けると、すばやく機能呼び出すことができます。 P.170

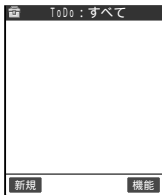
用件を登録します

会議や旅行など忘れてはいけない重要な用件をToDoとして登録しておくことで、設定した期日にアラーム音やアニメーションでお知らせします。

「用件」は必ず入力してください。「用件」を入力していない場合はToDoの登録ができません。

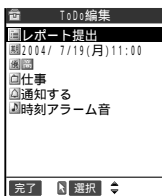
1   「ToDo」の順に選ぶ

2  [新規]を押す



すでに用件が登録されている場合
機能メニューから「新規登録」を選ぶ

3 それぞれの項目を設定する



- 内容** : 用件の内容を入力します。内容は全角で100文字、半角で200文字まで入力できます。文字の入力のしかた P.300
- 期 期日** : 用件の期日を入力します。ダイヤルボタンで直接入力する場合は「直接入力」を、カレンダーから選ぶ場合は「カレンダーから入力」を、期日を設定しない場合は「なし」を選びます。
- 優先度** : 用件の優先度を設定します。
- カテゴリ** : 用件のカテゴリを設定します。カテゴリを設定しておく、用件をカテゴリ別に表示させることができます。
- アラーム通知設定** : 設定した期日になったときのアラームの通知について設定します。「通知する」に設定すると、設定した期日にアラームを通知します。「事前通知する」に設定すると、期日の何分前にアラームを通知するかを01～99分の範囲で設定し、その時間にアラームを通知します。「通知しない」に設定すると、期日になってもアラームを通知しません。
- アラーム音** : アラーム音を「INBOX」フォルダ、お客様が作成したフォルダ、「プリインストール」フォルダ(「時刻アラーム音(ピッピビ、ピッピビ)」「着信音1～3」)、「メロディ」(「効果音」)、「おしゃべり」、「OFF」から設定します。

4 [完了]を押して用件を登録する

おしらせ

音声通話中に用件を登録する場合、アラーム音選択中にアラーム音は鳴りません。

お願い

登録したToDoリストの内容は、別にメモを取ったり、miniSDメモリーカード(『アプリケーション編』のP.363)を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト(『アプリケーション編』のP.472)とUSB接続ケーブル(別売)を利用して、ToDoリストの内容をパソコンに保管することもできます。

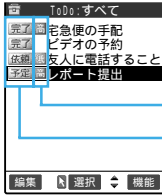
FOMAの故障・修理やその他の取扱いによって、登録したToDoリストの内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え登録したToDoリストの内容は、別にメモをお取りくださるようお願いいたします。

用件を確認します

詳細画面を表示して登録した用件の内容を確認できます。



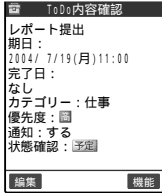
2 確認したい用件を選ぶ



優先度を表示します。

用件の状態を表示します。

3 用件を確認する



お知らせ

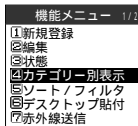
設定した期日が現在の日付・時刻を過ぎると、用件の状態を示すアイコンが赤色に変わります。ただし、状態を「完了」に設定している場合は赤色に変わりません。

用件の表示のしかたを変更します

登録されている用件をカテゴリー別に表示したり、期日順や登録順などに並べ替えたり、特定の状態の用件だけを抽出して表示したりできます。特定のカテゴリーの用件のみを表示したい場合や、まだ済んでいない用件を優先して表示したい場合などに便利です。

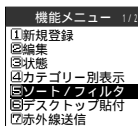
1 「ToDo」の順に選ぶ

2 機能メニューから「カテゴリ別表示」または「ソート/フィルタ」を選ぶ



カテゴリ別に用件を表示する場合

「カテゴリ別表示」を選んで表示するカテゴリを選ぶ



用件を並べ替える、または特定の状態の用件のみを抽出する場合

「ソート/フィルタ」を選んで並べ替え、または抽出の方法を選ぶ

おしらせ

用件を「期日順」で並べ替えた場合、期日の古い用件から順に並べ替えられます。

用件を「期日順」または「完了日順」で並べ替えた場合、期日または完了日が設定されていない用件は最後に表示されます。

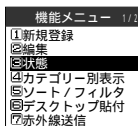
用件を「期日順」または「完了日順」で並べ替えた場合、期日または完了日が同じ用件は優先度の高いものから順に表示されます。さらに優先度も同じ場合は、登録順に表示されます。

用件の状態を変更します

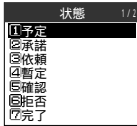
用件の状態を「予定」、「承諾」、「依頼」、「暫定」、「確認」、「拒否」、「完了」、「代理」の中から設定できます。用件を済ませてアラーム通知する必要がなくなったら、用件の状態を「完了」に設定してください。

1   「ToDo」の順に選ぶ

2 状態を設定したい用件を反転表示して機能メニューから「状態」を選ぶ



3 設定したい項目を選ぶ



「完了」を選んだ場合

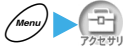
完了日を入力できます。入力方法を「直接入力 / カレンダーから入力 / なし」から選んで、完了日を入力してください。

お知らせ

ToDoの詳細画面でも機能メニューから「状態」を選んで設定できます。


用件を変更します

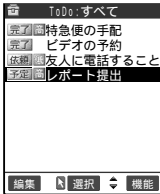
1



「ToDo」の順に選ぶ


2

変更したい用件を反転表示して  [編集] を押す



用件の編集のしかた P.228

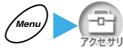
お知らせ

用件の詳細画面で  [編集] を押しても、用件の内容を変更できます。

用件を削除します

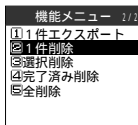
登録されている用件を1件ずつ削除したり、すべて削除したりできます。

1



「ToDo」の順に選ぶ

2 削除したい用件を反転表示して機能メニューから「1件削除」を選ぶ



複数の用件を選んで削除する場合

「選択削除」を選んで削除する用件を選ぶ

状態が「完了」に設定されている用件のみを削除する場合

「完了済み削除」を選ぶ

すべての用件を削除する場合

「全削除」を選ぶ

おしらせ

ToDoの詳細画面でも機能メニューから削除できます。

電卓を利用します

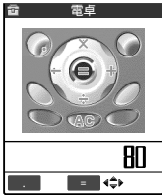
FOMA端末で四則演算（+、-、×、÷）を行うことができます。電卓画面はマルチファンクションボタン周辺を表しており、FOMA端末のボタンを押すとそれに該当する画面のボタンが反転表示します。数字はダイヤルボタンを押して入力します。

数字は10桁まで表示できます。また、小数点以下は9桁まで表示できます。

計算結果が10桁を超えた場合は、「.E」と表示されます。







1   「電卓」の順に選ぶ

2 計算する





入力した数字、計算結果が表示されます。

「23 + 57」を計算する場合






2 3 + 5 7 =
     

負の数を計算する場合

先頭の数字に「-」を付けた場合のみ、負の数の計算ができます。

- 2 3 + 5 7 =
      

おしらせ

 ( または ) を押すと、計算結果または数字が消えます。+、-、×、÷、= を押したあとは 、数字や小数点の入力中は  の表示になります。

テキストメモ



テキストメモを作成します

簡単なメッセージなどをテキストメモとして作成できます。作成したテキストメモはスケジュールの内容やメールの本文に貼り付けることができます。

テキストメモは10件まで登録できます。

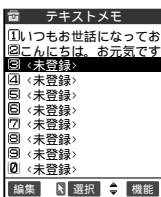
テキストメモは全角で256文字、半角で512文字まで入力できます。

テキストメモを登録します

1   「テキストメモ」の順に選ぶ

2

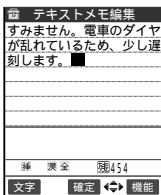
<未登録>を反転表示して [編集] を押す



すでに登録されているテキストメモの内容を変更する場合
変更する項目を反転表示して [編集] を押す

3

内容を入力する



文字の入力のしかた P.300

おしらせ

機能メニューの「編集」を選んで、テキストメモの登録/変更ができます。

お願い

登録したテキストメモの内容は、別にメモを取ったり、miniSDメモリーカード(『アプリケーション編』のP.363)を利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト(『アプリケーション編』のP.472)とUSB接続ケーブル(別売)を利用して、テキストメモの内容をパソコンに保管することもできます。

FOMAの故障・修理やその他の取扱いによって、登録したテキストメモの内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備え登録したテキストメモの内容は、別にメモをお取りくださるようお願いいたします。

テキストメモの内容を確認します

詳細画面を表示して登録した内容を確認できます。

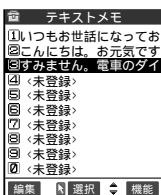
1



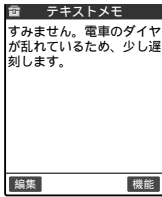
「テキストメモ」の順に選ぶ

2

内容を確認したい項目を選ぶ



3 内容を確認する



作成日時を確認する場合

機能メニューから「テキストメモ情報」を選ぶ
作成日時、最終更新日時、分類を確認できます。

テキストメモを分類する場合

機能メニューから「分類」を選ぶ

テキストメモの内容をスケジュールに登録する場合

機能メニューから「スケジュール作成」を選ぶ
スケジュールの登録のしかた P.218

テキストメモの内容をiモードメールで送信する場合

機能メニューから「iモードメール作成」を選ぶ
iモードメールの作成のしかた 『アプリケーション編』のP.152

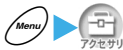
お知らせ

テキストメモの一覧画面でも機能メニューを選ぶことができます。

テキストメモを削除します

登録されているテキストメモを1件ずつ削除したり、すべて削除したりできます。

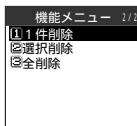
1



「テキストメモ」の順に選ぶ

2

削除したいテキストメモを反転表示して機能メニューから「1件削除」を選ぶ



複数のテキストメモを選んで削除する場合

「選択削除」を選んで削除するテキストメモを選ぶ

すべてのテキストメモを削除する場合

「全削除」を選ぶ

お知らせ

テキストメモの詳細画面でも機能メニューから削除できます。

辞典を利用します

英和辞典、和英辞典、国語辞典の3つの機能を利用できます。

待受画面に辞典をデスクトップアイコンとして貼り付けると、すばやく機能呼び出すことができます。 P.170

検索の結果、入力した文字と合う単語が無い場合は、入力した文字に近い単語の一覧が表示されます。入力した文字に近い単語がない場合は、選択した辞典の先頭データから一覧が表示されます。

辞典を起動します

1   「辞典」の順に選ぶ

2 「直接入力」を選ぶ




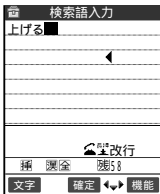
以前に検索した単語の履歴から検索したい場合

「検索履歴」を選んで履歴から単語を選び手順4へ

辞典機能をデスクトップに貼り付けたい場合

機能メニューから「デスクトップ貼付」を選ぶ

3 検索したい文字を入力して  [確定] を押す



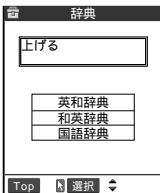
最大全角32文字 / 半角64文字まで入力できます。

文字の入力のしかた P.300

辞典では、かな、カナ(全角/半角)、漢字、英字(全角/半角)を検索できます。

英和辞典では英字のみ、和英辞典と国語辞典では英字以外を検索対象とします。

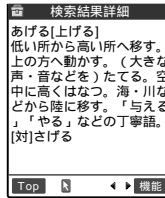
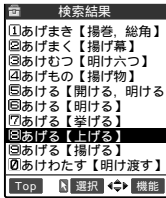
4 辞典の種類を選ぶ





ニューロポインターを使うことができます。

ニューロポインターの使いかた P.35

5 検索結果の一覧から単語を選ぶ



前後の一覧を表示させたい場合
一覧表示中に  を押す、または
ニューロポインターを使う

前後の単語を表示させたい場合
単語表示中に  を押す、または
ニューロポインターを使う

入力した単語を別の辞典で検索
したい場合

機能メニューから「別の辞典で検索」を選ぶ

おしらせ

機能メニューから「コピー」を選ぶと、一覧表示中は反転している単語の【】内の文字を、詳細表中は範囲を指定してコピーすることができます。「文字をコピーする」 P.319

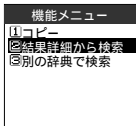
「検索履歴」には過去に入力した履歴が最大10件まで保存され、10件を超える分は古いものから順に自動的に消去されます。検索履歴を消したい場合は、検索履歴を表示させ削除したい項目を反転表示させて、機能メニューから「1件削除」または「全削除」を選びます。



検索結果の詳細画面から更に検索します



検索結果の詳細画面から検索したい文字を選択して検索します。

1 辞典を起動して単語を検索し、検索結果詳細画面を表示させる


2 機能メニューから「結果詳細から検索」を選ぶ



3  を押して検索したい文字のはじめの位置で  [始点] を押す

4  を押して検索したい文字の終わりの位置まで反転表示し、  [終点] を押す

5 辞典の種類を選ぶ

6 検索結果の一覧から単語を選択して  [選択] を押す

お客様の個人データを登録 / 編集します

お買い上げ時 自局番号のみ

名前や自宅の電話番号、メールアドレスなど、お客様の個人情報を登録できます。個人情報を登録しておくことで、FOMA端末の所有者を確認したり、文字入力(編集)画面で登録されている内容を引用できます。

自局番号を変更したり削除することはできません。

自局番号以外の項目はFOMA端末に記憶されます。ほかのFOMAカードを差し込んでも、自局番号以外の項目は登録した内容が表示されます。

個人データを登録します

1



「電話番号表示」の順に選ぶ



FOMA

を押しても表示できます。

2



[編集]を押して端末暗証番号を入力する



端末暗証番号について P.193

3 それぞれの項目を設定する



姓 名 名前

：お客様の名前を「姓」と「名」で入力します。姓名は漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号などを入力でき、全角で16文字、半角で32文字まで入力できます。

文字の入力のしかた P.300

フリガナ

：お客様の名前のフリガナを入力します。「姓」、「名」を入力すると自動的に設定されるので必要に応じて変更してください。フリガナは半角のカタカナ、英字、数字、記号を入力でき、32文字まで入力できます。

電話番号

：自局番号以外の電話番号を追加登録してアイコンを選びます。電話番号は最大3件まで登録、26桁まで入力できます。

新しく電話番号を登録すると、個人データの編集画面に「追加登録」が表示されます。この項目を選ぶと電話番号を追加登録できます。

メールアドレス

：メールアドレスを入力してアイコンを選びます。メールアドレスは最大3件まで登録でき、半角の英字、数字、記号で50文字まで入力できます。

1件目のメールアドレスを登録すると、個人データの編集画面に「追加登録」が表示されます。この項目を選ぶとメールアドレスを追加登録できます。

住所

：郵便番号と住所を入力します。郵便番号は7桁の半角数字で入力します。住所は漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号などを入力でき、全角で46文字、半角で93文字まで入力できます。

メモ



：メモを入力します。メモは漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号などを入力でき、全角で50文字、半角で100文字まで入力できます。

静止画

：個人データで表示される静止画を「イメージビューア」に保存されているデータから選びます。

画像の選びかた 『アプリケーション編』の P.300

4 [完了]を押して個人情報を登録する

メールアドレスを登録する場合は、iモードメールアドレスをメールアドレスの1番目に登録することをおすすめします。1番目に登録したメールアドレスは   を押して電話番号を表示したときにも表示されるので、自局番号と同時にメールアドレスも確認できます。

iモードのメールアドレスは、iモードのオプション設定で確認できます。『アプリケーション編』のP.242

自分のメールアドレスを変更したりシークレットコードを登録しても、本機能のメールアドレスは自動的に変更されませんので、本機能のメールアドレスも変更してください。

登録した画像が電話番号表示画面の画像表示エリアより大きい場合は、縦横同比率で縮小表示します。画面表示エリアより小さい場合はセンタリング表示します。



個人データを表示します

本機能を起動したときは名前、自局番号、1件目のメールアドレスのみ表示できます。端末暗証番号を入力するとすべてのデータが表示できるようになります。

1

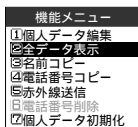


「電話番号表示」の順に選ぶ

  を押しても表示できます。

2

機能メニューから「全データ表示」を選んで、端末暗証番号を入力する



端末暗証番号について P.193

3



を押して内容を確認する



データをコピーする場合

コピーする項目を表示して機能メニューから「名前コピー」または「電話番号コピー / メールアドレスコピー / 住所コピー / メモコピー」を選ぶ

コピーしたデータは文字入力画面で貼り付けることができます。

P.320

データを削除する場合



削除する項目を表示して機能メニューから「電話番号削除 / メールアドレス削除 / 住所削除 / メモ削除 / 静止画削除」を選ぶ



お知らせ

すべてのデータを表示しなくても1件目のメールアドレスは削除できますが、その場合も端末暗証番号の入力が必要です。

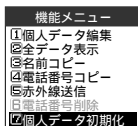
個人データを初期化します

自局番号以外の個人データを初期化(削除)して、お買い上げのときの状態に戻します。

1   「電話番号表示」の順に選ぶ

  を押しても表示できます。

2 機能メニューから「個人データ初期化」を選んで、端末暗証番号を入力する



端末暗証番号について P.193

すべてのデータを表示している場合

端末暗証番号を入力する必要はありません。

3 「YES」を選ぶ

個人データを初期化しない場合

「NO」を選ぶ

お知らせ

本機能で個人データを初期化しても、実際のメールアドレスは初期化されません。実際のメールアドレスを「電話番号@docomo.ne.jp」にリセット(初期化)するには、iモードのオプション設定の「アドレスリセット」を行ってください。『アプリケーション編』のP.244

メニュー表示を変更します

メニューの表示のしかたを変更したり、オリジナルメニューを登録したりなど、より使いやすいメニュー表示に変更できます。

メニュー表示のしかたを設定します <メニュー画面設定>

お買い上げ時 ガイダンス表示：ON メニュー表示：詳細表示

大項目の選択画面で選んでいる大項目アイコンのガイダンスを表示するかしないか、また「各種設定」のメニュー小項目(機能)の表示を一覧表示にするか詳細表示にするかを設定できます。

本機能の設定にかかわらず、オリジナルメニューは一覧表示されます。

ガイダンス表示について

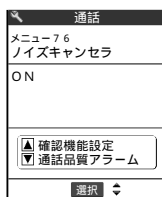


「ON」の場合

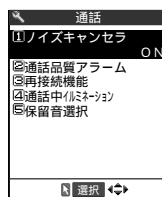


「OFF」の場合



メニュー表示について



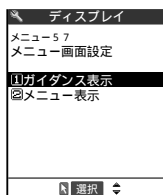
「詳細表示」の場合



「一覧表示」の場合

1   「ディスプレイ」▶「メニュー画面設定」の順に選ぶ

2 設定したい項目を選ぶ



大項目のガイダンス表示を設定する場合

「ガイダンス表示」を選ぶ

ガイダンス表示を「表示する / 表示しない (ON / OFF)」から選びます。

小項目の表示のしかたを設定する場合

「メニュー表示」を選ぶ

小項目の表示のしかたを「詳細表示 / 一覧表示」から選びます。

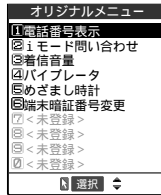
オリジナルメニューを表示します

「オリジナルメニュー登録（下記）で登録した機能を表示できます。オリジナルメニューから機能を選ぶと、選んだ機能が起動します。

オリジナルメニューは「一覧表示」で表示されます。

オリジナルメニューをデスクトップアイコンとして貼り付けると、すばやく機能呼び出すことができます。 P.170

1



Menuを押すごとにメインメニューとオリジナルメニューが切り替わります。

その他の機能を利用する

お知らせ

オリジナルメニューから待受画面に戻った場合、またはオリジナルメニューから機能呼び出して操作したあとに待受画面に戻った場合は、次にMenuを押すとオリジナルメニューが表示されます。オリジナルメニューに機能が1件も登録されていない場合は、オリジナルメニューを登録するかどうかのメッセージが表示されます。

オリジナルメニューを作成します <オリジナルメニュー登録>

お買い上げ時 電話番号表示、iモード問い合わせ、着信音量、バイプレータ、めざまし時計、端末暗証番号変更

よく使う機能を「オリジナルメニュー」として登録しておくことで、オリジナルメニューから直接機能呼び出せます。メインメニューから大項目→中項目→小項目と順番に選んでいく必要がなくなるので、使いたい機能を簡単に呼び出せます。

オリジナルメニューは最大10件まで登録できます。

オリジナルメニューに登録できる機能は、「メール」、「iモード」、「iアプリ」の大項目と「各種設定」、「マルチメディア」、「アクセサリ」、「サービス」、「電話帳」、「ユーザデータ」の各中項目および小項目です。

同じ機能を登録することはできません。

1



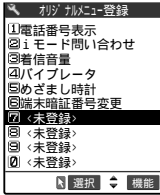
選ぶ



「ディスプレイ」▶「オリジナルメニュー登録」の順に

2

<未登録>を選ぶ



すでに登録されている機能を変更する場合
機能が登録されている項目を選ぶ

すでに登録されている機能を解除する場合

解除したい項目を反転表示して機能メニューから「1件解除」を選ぶ

すでに登録されている機能をすべて解除する場合

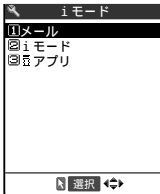
機能メニューから「全解除」を選ぶ

お買い上げのときの設定に戻す場合

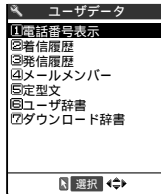
機能メニューから「オリジナルメニュー初期化」を選ぶ

3

メニューのカテゴリーを選ぶ

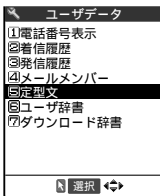


...



4

登録したい機能を選ぶ



選んだカテゴリーが「iモード」の場合

選べるのは「メール/iモード/iアプリ」の大項目のみです。

おしらせ

あらかじめ登録されている機能を変更したり、解除することもできます。

すでに機能が登録されている項目に登録しようとした場合、上書きするかどうかのメッセージが表示されます。

自分の声や相手の声を録音します

音声メモには、待受画面表示中に自分の声を録音できる「待受中音声メモ」と、音声通話中またはテレビ電話中に相手の声を録音できる「通話中音声メモ」の2種類があります。簡単な用件を音声でメモできるので便利です。



録音できる件数は、待受中音声メモまたは通話中音声メモのどちらか1件で、録音するたびに上書きされます。

録音できる時間は約20秒です。

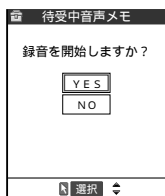
録音した音声メモの再生、消去については、P.247を参照してください。

自分の声を録音します

「待受中音声メモ」を使って自分の声を録音できます。

1   「待受中音声メモ」の順に選ぶ

2 「YES」を選ぶ



音声メモを録音しない場合

「NO」を選ぶ

3 音声メモを録音する



「ピッ」と鳴ったら送話口に向かってお話しください。録音時間(約20秒間)が終わる5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終わると「ピッピッ」という音が鳴り、「音声メモ録音中」の表示が消えて元の画面に戻ります。

録音を途中でやめる場合

- [停止] ● [CLR] ● [END] のいずれかのボタンを押す
- [END] を押した場合は、待受画面に戻りますが録音した音声は保存されます。

おしらせ

通話中の場合は、メニューの「待受中音声メモ」が「通話中音声メモ」になります。

通話中に相手の声を録音します

音声通話中またはテレビ電話中に相手の声を録音できます。ボタン操作1回で必要な用件をすばやく録音できます。

1 通話中に「メモ / 確認」を1秒以上押す



「ピッ」と鳴って録音が始まります。録音時間(約20秒間)が終わる5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終わると「ピッピッ」という音が鳴り、「音声メモ録音中」の表示が消えて通話中画面に戻ります。

録音を途中でやめる場合

● [停止]、● [CLR]、● [END] を押すか「メモ / 確認」を1秒以上押す
● [END] を押した場合は、通話も終了します。

お知らせ

録音中に音声電話や64Kデータ通信の着信があったり、「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」のアラームが通知されたり、ほかの機能を操作した場合は、録音を停止します。

伝言メモや音声メモを再生 / 消去します

「伝言メモ」や「音声メモ」で録音した内容を再生したり消去したりできます。

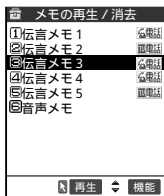
再生します

音声電話からの伝言メモは「☎電話」、テレビ電話からの伝言メモは「☎電話」が表示されます。また音声メモが録音されている場合は「」が表示されます。

相手が電話番号を通知してきた伝言メモは、再生中に相手の電話番号が表示されます。また、相手が電話帳に登録されている場合は名前も表示されます。

1 「メモの再生 / 消去」の順に選ぶ

2 再生する項目を選ぶ



「ピッ」という音が鳴って再生がはじまります。再生が終わると「ピッ」という音が鳴り、再生中の表示が消えます。

次のメモを再生する場合

① [メモ / 確認] を押す

② [メモ / 確認] を押すごとに、新しい順でメモが再生されます。
音声メモは一番古い伝言メモの次に再生されます。

再生を途中で止める場合

③ [CLR] または ④ [停止] を押す

再生中に表示されている電話番号に電話をかける場合

⑤ を押す

再生中に表示されている電話番号にテレビ電話をかける場合

⑥ を押す

再生中のメモを消去する場合

⑦ [消去] を押す

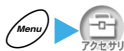
お知らせ

待受画面表示中に① [メモ / 確認] を押しても、メモを再生できません。

「伝言メモ」と「音声メモ」が1件も録音されていない場合は、録音されていないことを通知するメッセージが表示されます。

消去します

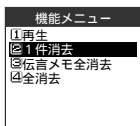
1



「メモの再生 / 消去」の順に選ぶ

2

消去したい項目を反転表示して機能メニューから「1件消去」を選ぶ



「伝言メモ」をすべて消去する場合

「伝言メモ全消去」を選ぶ

すべてのメモを消去する場合

「全消去」を選ぶ

お知らせ

メモの再生中に⑦ [消去] を押すと、再生中のメモを消去できます。

お願い

FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、メモ機能で録音した内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備えメモ機能で録音した内容は、手帳などに控えをお取りくださるようお願いいたします。

アラーム音や応答保留音を録音 / 再生します

音声を録音して、オリジナルの着信音や応答メッセージとして設定できます。

録音できる音声は「おしゃべり1」、「おしゃべり2」の2件です。

録音できる時間は約15秒です。

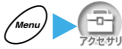
本機能で録音した音声を設定できる機能は次のとおりです。

- ・ 着信音
- ・ 非通知着信設定の着信音
- ・ 応答保留音
- ・ 通話中保留音
- ・ 伝言メモの応答メッセージ
- ・ めざまし時計のアラーム通知音
- ・ スケジュールのアラーム通知音
- ・ ToDoのアラーム通知音

メモディプレーヤーでも録音した音声を再生できます。『アプリケーション編』のP.339

音声を録音します

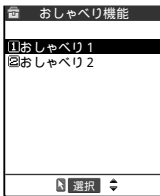
1



▶ 「おしゃべり機能」の順に選ぶ

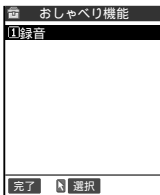
2

録音したい項目を選ぶ



3

「録音」を選んで音声を録音する



「ピッ」と鳴って録音がはじまります。送話口に向かってお話しください。録音時間(約15秒間)が終わる5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終わると「ピッピッ」という音が鳴り、「おしゃべり録音中」の表示が消えて元の画面に戻ります。

録音を途中でやめる場合



● [停止]、[CLR]、[END] のいずれかのボタンを押す

録音中に [END] を押した場合、待受画面に戻りますが録音した音声は保存されます。

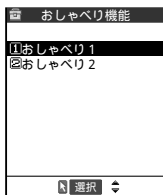
お知らせ

録音済みの音声がある場合は、すでに録音されていることを通知するメッセージが表示されます。「YES」を選んで新しく音声を録音すると元の音声は上書きされます。録音中に音声電話やテレビ電話、64Kデータ通信の着信があったり、「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」のアラームが通知されたり、ほかの機能を実行した場合は、録音を停止します。

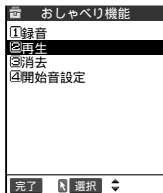
録音した音声を再生します

1   「おしゃべり機能」の順に選ぶ



2 再生したい項目を選ぶ



3 「再生」を選んで音声を再生する



再生を途中でやめる場合

● [停止]、、 のいずれかのボタンを押す


音声を消去する場合

「消去」を選ぶ

アラーム通知前に開始音を鳴らすかどうかを設定する場合

「開始音設定」を選ぶ

アラーム通知前に開始音を「鳴らす / 鳴らさない (ON / OFF) を設定します。

「ON」に設定すると「」が表示されて、録音した音声「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」のアラーム通知音として鳴る前に「ピピッ」という開始音が鳴ります。

お知らせ

着信音、アラーム音、応答メッセージ、応答保留音などに設定している音声を消去すると、各機能の設定はお買い上げのときの状態に戻ります。「メロディプレーヤー」の場合は、プログラム編集データが削除されます。

ニューロポインターの設定をします

お買い上げ時 ポインター表示：ON フォーカス設定：追従型

ニューロポインターボタン(●)で操作するポインター(👁️：青色/👁️：白色)をより使いやすくするために、ポインター表示のON/OFFやフォーカスの選びかた、移動速度などを設定できます。

設定できる項目は次のとおりです。

設定項目	内容	参照ページ	
ポインター表示	ポインターを表示する / 表示しない(ON / OFF)を設定します。「OFF」に設定すると、●をスライドしてもポインターは表示されません。	下記	
フォーカス設定	ポインターの移動に合わせて項目を自動選択する / 自動選択しない(追従型：👁️(青色) / 非追従型：👁️(白色))を設定します。「追従型：👁️(青色)」に設定した場合、ポインターの重なっている項目が自動的に選択状態になるため、●を押すだけで項目を決定できます。「非追従型：👁️(白色)」に設定した場合、選びたい項目にポインターを合わせて●を押すと選択状態になり、もう一度●を押すと決定になります。	下記	
速度調節	通常画面	一覧画面やアイコン選択画面など、一般的な画面のポインター速度を調節します。	P.252
	MainMenu画面	メインメニューのポインター速度を調節します。	
	T9候補・ワード予測画面	T9方式(モード3)の読み候補表示中画面やワード予測表示中画面のポインター速度を調節します。	
	ソフト実行画面	iアプリ実行中画面のポインター速度を調節します。	
	速度リセット	ポインターの速度をお買い上げのときの状態に戻します。	
スライド設定	スライド調整	ポインターを正しく動かせるように、ニューロポインターボタンの最大スライド範囲を調整します。	P.253
	リセット	スライドの調整値をお買い上げのときの状態に戻します。	

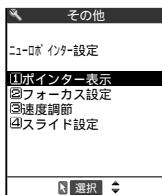
：iアプリのソフトによっては、本機能の設定が反映されない場合があります。

ポインターは「👁️」が表示される画面で使用できます。

1



「その他」▶️「ニューロポインター設定」の順に選ぶ



表示を設定する場合

「ポインター表示」を選ぶ

ポインターを「表示する / 表示しない(ON / OFF)」を設定します。

フォーカス方法を設定する場合

「フォーカス設定」を選ぶ


ポインターのフォーカス方法を「追従型 / 非追従型」から選びます。

移動速度を調節する場合

「速度調節」を選ぶ

スライド範囲を調節する場合

「スライド設定」を選ぶ

「ポインター表示」を「OFF」に設定していても、ポインターを使える画面では画面の下に「」が表示されます。

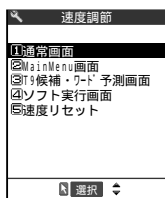
ポインターの移動速度を調節します

ポインターの移動速度をお好みの速さに調節できます。ポインターを使って速度を調節すると、調節中の値がポインターに反映されるため、速度を確認しながら調節できます。

ポインターの移動速度を正しく調節するために「初速」、「低速」、「高速」の順に調節してください。

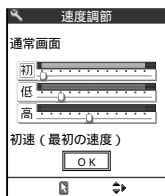
1 ニューロポインター設定画面(P.251)で「速度調節」を選ぶ

2 速度を調節したい項目を選ぶ



速度調節値をリセットする場合
「速度リセット」を選ぶ

3 を押して「初」、「低」、「高」を選び、 を押して速度を調節する



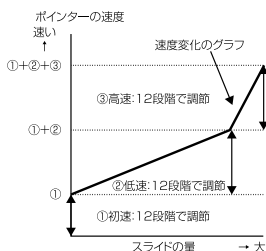
速度はそれぞれ0(左端)~11(右端)段階で調節できます。調節値を右にずらすほど速度が速くなり、左にずらすほど遅くなります。
速度調節について P.253

4 「OK」を選ぶ



速度調節について

ポインターの移動速度は、ニューロpointerボタンのスライドの量に応じて「最初速度(初速)」「初速からの加速(低速)」「低速からの加速(高速)」の3段階で速くなります。「初速」の速度は「初速」の調節値に、「低速」の速度は「初速」と「低速」の調節値を合計した値に、「高速」の速度は「初速」と「低速」と「高速」の調節値を合計した値になります。したがって、「低速」と「高速」の調節値を0(左端)にした場合は、「初速」の値に何も足されないため、ポインターの移動速度は「初速」を保ちます。一方「低速」と「高速」の調節値を1以上に設定した場合は、「初速」に「低速」と「高速」の調節値が足されるため、ニューロpointerボタンのスライド量を大きくするほどポインターの移動速度が速くなります。

スライド量とポインターの速度との関係(イメージ)



おしらせ

「pointer表示」を「OFF」に設定した場合でも、を押して速度調節を行います。ただし、pointerを使って速度を確認しながら調節することはできません。pointerの移動速度や、 (追従型)で自動的に項目が選ばれる速度は、操作する画面によって異なる場合があります。

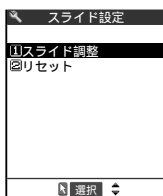
スライド範囲を調節します

pointerの動きが不安定になった場合は、ニューロpointerボタンの最大スライド範囲を調節します。

スライド調整は、上方向、下方向、左方向、右方向の順に行います。

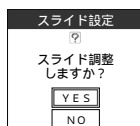
1 ニューロpointer設定画面(P.251)で「スライド設定」を選ぶ

2 「スライド調整」を選ぶ



スライド調整値をリセットする場合
「リセット」を選ぶ

3 「YES」を選ぶ

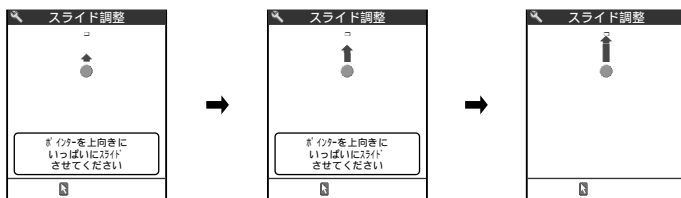


スライド調整を行わない場合
「NO」を選ぶ

4 画面のガイダンスに従ってニューロポインターボタンをスライドする

ニューロポインターボタンは上下左右いっぱいまでスライドさせ、ガイダンスが消えるまでしばらく止めてください。

上下左右のスライド調整が終了すると、スライド調整したことを通知するメッセージが表示されます。



おしらせ

スライド調整中に音声電話やテレビ電話、64Kデータ通信の着信があったり、「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」のアラームが通知されたり、ほかの機能を実行した場合は、調整値が破棄されます。各機能の操作を終了するとスライド調整画面に戻りますので、もう一度上方向のスライド調整からやり直してください。

設定リセット

各種機能の設定をリセットします



各機能の設定をお買い上げのときの設定内容に戻すことができます。

「PIMロック」設定中はリセットできません。

パソコンなどの外部機器と接続している場合、「USBモード設定」はお買い上げのときの設定内容に戻りません。

iモード機能の設定をお買い上げのときの状態に戻すには、「iモード設定リセット」を行ってください。『アプリケーション編』のP.126

本機能でリセットできない項目については、P.369を参照してください。

1   「その他」▶「設定リセット」の順に選んで、端末暗証番号を入力する

端末暗証番号について P.193

2 「YES」を選ぶ

リセットしない場合

「NO」を選ぶ

設定リセットされる機能一覧






機能名		お買い上げ時の設定	
各種設定	着信	着信音量	電話 / TV電話：レベル4 メール / メッセージ：レベル4
		着信音選択	電話：着信音1 TV電話：着信音1 メール：着信音2 メッセージリクエスト：着信音3 メッセージフリー：着信音3
		バイブレータ	電話：OFF TV電話：OFF メール：OFF メッセージリクエスト：OFF メッセージフリー：OFF
		着信イルミネーション	電話：色5 TV電話：色5 メール：色1 メッセージリクエスト：色1 メッセージフリー：色1 パターン設定：固定パターン カラー名：色1～12 カラー調節：初期値
		マナーモード選択	マナーモード オリジナルマナーの設定 伝言メモ：OFF バイブレータ：ON 電話着信音量：消去 メール着信音量：消去 めざまし音量：消去 メモ確認音：ON ボタン確認音：OFF 通話中マイク感度：アップ 低電圧アラーム：OFF
		電話帳画像着信設定	ON
		着信アンサー設定	エニーキーアンサー
		クローズ動作設定	終話
		メール / メッセージ鳴動	メール：ON 鳴動時間設定：5秒 メッセージリクエスト：ON 鳴動時間設定：5秒 メッセージフリー：ON 鳴動時間設定：5秒
		呼出時間表示設定	無音時間設定：0秒 時間内不在着信表示：表示する
	確認機能設定	日本語表示の時：電子音 英語表示の時：ON	
	通話	ノイズキャンセラ	ON
		通話品質アラーム	アラーム高音
		再接続機能	アラームなし
		通話中イルミネーション	OFF
保留音選択		応答保留音：応答保留音1 通話中保留音：エリーゼのために	

その他の機能を利用する

設定リセット

機能名		お買い上げ時の設定		
各種設定	TV電話	画像品質設定	標準	
		発信時自画像送信設定	ON	
		画像選択	応答保留：内蔵 通話中保留：内蔵 代替画像：キャラ電 伝言メモ：内蔵	
		音声自動再発信設定	OFF	
		遠隔監視設定	対局番号登録：設定なし 応答時間設定：5秒 設定：OFF	
		通話中画像表示設定	親画面表示：親画面対局表示 画像表示設定：画面サイズで表示	
	ディスプレイ	画面表示設定	待受画面：Aqua ウェイクアップ表示：熱帯魚 ウェイクアップメッセージ：未入力状態に戻す 電話発信：スタンダード 電話着信：スタンダード メール送信：スタンダード メール受信：スタンダード 問い合わせ：スタンダード	
		照明設定	通常時：ON + 待受画面省電力モードON + 待ち時間設定5分 充電時：標準 範囲：液晶 + ボタン 明るさ：レベル2	
		配色パターン	スタンダード	
		イルミネーション・ウィンドウ	文字・情報表示 コントラスト調節：レベル5 時計種類：デジタル時計 着信番号表示：ON メール表示：OFF 通信中表示：ON + バックライトOFF 時計固定表示 コントラスト調節：レベル5 時計種類：デジタル時計	
		フォント設定	文字パターン：フォント1 太さ：中太字	
		オリジナルメニュー登録	電話番号表示 iモード問い合わせ 着信音量 バイプレータ めざまし時計 端末暗証番号変更	
		メニュー画面設定	ガイダンス表示：ON メニュー表示：詳細表示	
		ピクチャ表示設定	ピクチャー覧	
		オート表示	OFF	
		時間	通話中時間表示	ON
		時計	時計表示設定	表示方法：「Language」の設定にしたがいます。 表示サイズ：大きく表示
			アラーム通知設定	通知優先

機能名		お買い上げ時の設定	
各種設定	ロック/セキュリティ	セルフモード	OFF(解除)
		ダイヤル発信制限	OFF(解除)
		登録外着信拒否	許可
		非通知着信設定	すべて許可/通常着信音と同じ
	アプリケーション通信設定	接続待ち時間設定	60秒間
		iモード問い合わせ設定	メール: ON メッセージリクエスト: ON メッセージフリー: ON
		接続先選択	iモード ユーザ指定接続先: 未登録状態に戻す
		SMS center設定	ドコモ
		証明書	すべて有効
		証明書センター接続設定	ドコモ ユーザ指定接続先: 未登録状態に戻す
	iアプリ設定	ソフト情報表示設定	表示しない
		照明設定	システム依存
		パイプレータ	システム依存
		イルミネーション・ウィンドウ	システム依存
	外部オプション	イヤホン切替	イヤホン+スピーカ
		オート着信	OFF 呼出時間: 6秒
	その他	ボタン確認音	ON
		充電確認音	ON
		SRS_WOW設定	ON
		サイドボタン操作	閉じた時有効
		文字入力方式	入力モード: すべて有効 優先入力方式: モード1(かな方式) ワード予測: ON ガイダンス表示: ON T9変換モード: T9漢字変換モード
		履歴表示設定	着信履歴: ON リダイヤル/発信履歴: ON
		サブアドレス設定	ON
		プレフィックス設定	登録名: WORLD CALL プレフィックス: 009130010 (ユーザ設定は未登録状態に戻す)
		ニューロポインター設定	ポインター表示: ON フォーカス設定: 追従型 速度調節: 初期値
		USBモード設定 ¹	通信モード

機能名		お買い上げ時の設定
 アクセサリー	カメラ	カメラ設定：外側カメラ 撮影間隔：0.5秒 撮影枚数：5枚 連写切替：オート 画像サイズ メガピクセルフォト：1616×1212 フォトモード、連写モード、 ピクチャボイス：メール大(176×144) ムービーモード、チャンスキャプチャ、 長時間ムービー：サイズ大(176×144) 動画容量設定：メール 動画保存設定：標準 ファイル制限：なし 自動保存設定：OFF セルフタイマー作動時間：10秒 ホワイトバランス設定：オート シャッター音選択：シャッター音1 表示サイズ設定：等倍表示 画像チューニング：自動
	スケジュール	1ヶ月表示 ユーザーアイコン：未登録状態に戻す
	めざまし時計	OFF
	伝言メモ	OFF 応答メッセージ：標準 呼出時間：8秒
	おしゃべり機能	開始音設定：ON
	電話帳画像転送	する
 サービス	着信動作選択	通常着信
 電話帳	電話帳便利機能	すべてOFF
	電話帳指定設定	すべてOFF
 ユーザーデータ	定型文	固定定型文初期化 (フォルダ名を含めてフォルダ1、2のリセット)
 マルチメディア	イメージビューア	画像表示設定：標準
	ムービープレーヤー	一覧表示切替：タイトル+画像 画像表示設定：等倍表示
	キャラ電プレーヤー	キャラ電撮影：フォトモード 代替画像設定：ブンブン(Dimo) 画像表示設定：画面サイズで表示 画像サイズ設定：サイズ大(176×144) 撮影種別設定：通常 動画保存設定：標準
その他	受話音量調節	レベル4
	マナーモード	OFF
	ドライブモード	OFF
	テレビ電話のTV電話設定	明るさ調節：0
	テレビ電話の照明設定	常時点灯
	電話帳検索のラストワン機能 ²	フリガナ検索
	デスクトップアイコンのラストワン機能 ²	1ページの左端

1：FOMA端末にUSBケーブルが接続されているときには、本設定はリセットされません。

2：「ラストワン機能」とは、最後に操作したときに選んでいた機能が、次の操作のときにあらかじめ選ばれている機能です。

ご利用になる通信事業者名を設定します

ドコモをご利用の場合は、設定を変更する必要はありません。

お買い上げ時

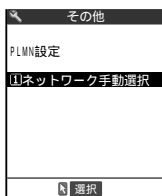
DoCoMo

FOMAサービスを提供するPLMN(通信事業者名)を設定できます。

2004年6月現在、DoCoMo以外の通信事業者は選べません。

1   「その他」▶「PLMN設定」の順に選ぶ

2 「ネットワーク手動選択」を選ぶ



3 PLMN(通信事業者名)を選ぶ

イヤホンマイクが利用できます

スイッチ付イヤホンマイクを利用すると、相手の声をイヤホンで聞くことができますので、音漏れを気にすることなく通話できます。

スイッチ付イヤホンマイクをFOMA端末に接続するには、イヤホンマイク端子のカバーを開け、スイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを差し込んでください。

P.34

イヤホンマイクのご利用にあたって

イヤホンマイクの接続プラグは確実に差し込んでください。確実に差し込まれていないと音が聞こえない場合があります。

着信音が鳴っているときにイヤホンマイクを接続すると、電話を受けてしまうことがありますのでご注意ください。

イヤホンマイクのコードをFOMA端末に巻きつけないでください。電波の受信レベルが低下する場合があります。

電源を入れた瞬間に「パチッ」という音がする場合がありますが故障ではありません。

通話中にイヤホンマイクのプラグを途中まで差し込んだ状態にすると、「プー」という音がする場合がありますが故障ではありません。

スイッチ付イヤホンマイクを使って電話を受けます

スイッチ付イヤホンマイクを使用中は、イヤホンのスイッチを押すだけでかかってきた音声電話やテレビ電話に出ることができます。

ご利用いただけるスイッチ付きイヤホンマイクについては、「オプション / 関連機器のご紹介」(P.355)をご参照ください。

FOMA端末を折り畳んだ状態でも、利用できます。


「ボタン確認音」(P.168)の設定にかかわらず、電話がつながったときの音や電話が切れたときの音は鳴ります。

1 電話がかかってきたら、スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押す

音声電話の場合

「ピッ」という音が鳴り、音声電話に出ます。


テレビ電話の場合




「ピッ」という音が鳴り、代替画像でテレビ電話に出ます。を押すとカメラ映像に切り替えることができます。

2 お話しが終わったら、スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す

「ピッピッ」という音が鳴り、電話が切れます。

FOMA端末で電話を切る場合

を押す

スイッチ付イヤホンマイクを接続していても、FOMA端末のボタンを押して電話に出ることができません。音声電話に出る場合はを、カメラ映像でテレビ電話に出る場合はを、代替画像でテレビ電話に出る場合はを押してください。

「イヤホン切替」でスイッチ付イヤホンマイクを接続しているときにスピーカから音が鳴らないように設定できます。ただし、遠隔監視着信時の着信音およびカメラのシャッター音はスピーカから鳴ります。

「オート着信」を「ON」に設定すると、かかってきた電話をスイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押すことなく自動的に受けることができます。 P.262

「着信音量」の「電話 / TV電話」を「消去」に設定している場合やマナーモード設定中は、着信音は鳴りません。ただし、マナーモードが「オリジナルマナー」で「電話着信音量」を「消去」以外に設定している場合は着信音が鳴ります。

通話中にスイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押してもハンズフリーにはなりません。スイッチを1秒以上押すと通話が切れますのでご注意ください。

「キャッチホン」(P.281)をご契約の場合は、通話中にかかってきた電話にスイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押して出ることができます。ただし、スイッチを押して通話を終わらせることはできません。

スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを連続して押し続けたり離したりしないでください。自動的に電話を受けてしまうことがあります。

イヤホンマイク接続時にスピーカから出る音を消します<イヤホン切替>

お買い上げ時 イヤホン + スピーカ

スイッチ付イヤホンマイク(別売品)などを接続しているときに、スピーカから音が鳴らないように設定できます。

スピーカから音が鳴らないように設定しても、着信音や「めざまし時計」、「スケジュール」、「ToDo」のアラーム音が鳴ってから止めずに約20秒たつと、イヤホンとスピーカの両方から音が鳴ります。

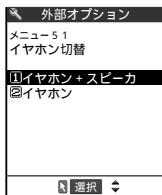
本機能の設定にかかわらず、遠隔監視の着信音とカメラのシャッター音はスピーカから鳴ります。

本機能の設定にかかわらず、イヤホンマイクを接続している場合はハンズフリーに切り替えてもスピーカから音は鳴りません。

1



「外部オプション」▶「イヤホン切替」の順に選ぶ



イヤホンとスピーカの両方から音を鳴らす場合

「イヤホン + スピーカ」を選ぶ

イヤホンのみから音を鳴らす場合

「イヤホン」を選ぶ

お知らせ

本機能を「イヤホン」に設定していても、イヤホンマイクを接続していない場合はスピーカから音が鳴ります。

本機能を「イヤホン+スピーカ」に設定しているときにイヤホンマイクを抜き差しすると、スピーカから鳴る音の音質が変わる場合があります。

イヤホンをつないで自動で電話を受けます <オート着信>

お買い上げ時 | オート着信：OFF | 呼出開始：6秒

スイッチ付イヤホンマイク(別売品)などを接続しているとき、スイッチを押さなくてもかかってきた音声電話やテレビ電話を自動で受けるように設定できます。

電話を受ける場合、呼出時間を1秒～120秒の範囲で設定します。

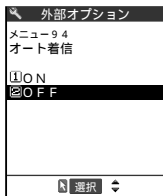
呼出時間は「伝言メモ」または「遠隔監視設定」の応答時間と同じ時間に設定することはできません。

次の電話番号から電話がかかってきた場合は、自動で電話を受けません。

- ・「指定着信拒否」を設定した電話番号
- ・「指定留守番電話」を設定した電話番号
- ・「指定着信許可」を設定した以外の電話番号
- ・「指定転送でんわ」を設定した電話番号

64Kデータ通信中は自動で電話を受けません。

1 「外部オプション」▶「オート着信」の順に選ぶ



オート着信を有効にする場合


「ON」を選んで「呼出時間」を1～120秒の範囲で設定する

オート着信を無効にする場合

「OFF」を選ぶ

お知らせ

本機能を「OFF」に設定している場合は、スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押すと電話に出ることができます。

テレビ電話をオート着信した場合、相手側には代替画像が表示されます。テレビ電話中にを押すと、代替画像とカメラ映像を切り替えることができます。

「留守番電話サービス」(P.273)や「転送でんわサービス」(P.278)を同時に設定している場合に本機能を優先させるには、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間よりも本機能の呼出時間を短く設定してください。

マルチアクセスについて

マルチアクセスとは、音声電話、パケット通信、SMSを同時に使用できる機能です。これによって音声通話中にメールを受信したり、iモード中に音声電話をかけたりできます。

同時に使用可能な通信回線

FOMA端末はマルチアクセス機能によって、次の3回線を同時に使用できます。

通信の種類	使用する回線
音声電話	1回線
iモード、iアプリ、iモードメール	いずれか1回線
パソコンをつないだパケット通信	
SMS	1回線

マルチアクセスの組み合わせについては、P.352を参照してください。

おしらせ

マルチアクセス中(音声通話中にiモードを使用したときなど)は、それぞれの通信回線に通信料金がかかります。

テレビ電話中はマルチアクセスを使用できません。ただし、SMSの受信のみ同時に使用できます。64Kデータ通信中はマルチアクセスを使用できません。ただし、SMSの送受信のみ同時に使用できます。

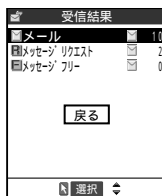
通信中に着信があったとき

通信中にほかの回線からの着信があった場合は、現在の通信を中断せずに同時に通信を行うことができます。

音声通話中のiモードメール受信

音声通話中にiモードメールを受信すると、音声通話中画面のままiモードメールを受信します。受信したiモードメールは音声電話を切らずに見ることができます。

1 を1秒以上押す

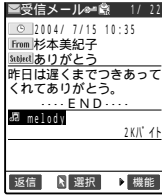


iモードメールの受信結果画面に切り替わります。

タスクメニューから切り替える場合

タスクメニューの切替について
P.268

2 iモードメールを見る





iモードメールの見かた 『アプリケーション編』のP.183

3 を1秒以上押す

音声通話中画面に切り替わります。

お知らせ

音声通話中にiモードメールやメッセージリクエスト/フリーを受信した場合、着信音は鳴らずに「メール」アイコンが点滅・点灯して受信をお知らせします。
「受信表示設定」(『アプリケーション編』のP.227)を「通知優先」に設定している場合、音声通話中にiモードメールを受信すると、「」が点滅し、iモードメールの受信中画面に切り替わります。受信後  [選択] を押すと、iモードメールを見ることができます。また、受信してから約15秒間何も操作しないと、通話中画面に戻ります。

iモード中/パケット通信中の音声電話着信

iモードの接続中やメールの送受信、パケット通信によるデータ通信中に音声電話がかかってくると、音声電話着信画面に切り替わり、iモードやパケット通信を終了しないで音声電話に出ることができます。


iモード中にテレビ電話を受けることはできません。

1 を押す



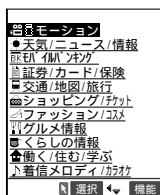
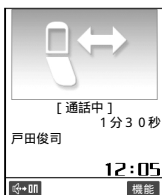
音声通話中画面に切り替わり通話ができます。

音声電話に出ないでiモード画面に戻る場合

 を1秒以上押す


相手にメッセージは流れず、呼び出し中になります。

2 通話が終了したら を押す



通話が終了し、iモード画面に戻ります。

音声通話中のままiモード画面に戻る場合

 を1秒以上押す

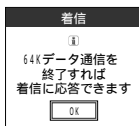
64Kデータ通信中の音声電話着信

64Kデータ通信中に音声電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信メッセージが表示されます。64Kデータ通信を接続したまま音声電話は使用できませんので、次のいずれかの操作を行ってください。

- ・ 音声電話を拒否して64Kデータ通信を継続する
- ・ 音声電話を「留守番電話」につなげる
- ・ 音声電話を「転送でんわ」につなげる
- ・ 64Kデータ通信を切断して音声電話に出る

＜例：64Kデータ通信を切断して音声電話に出る場合＞

1 音声電話着信中画面で [選択] を押す



パソコン側で64Kデータ通信を切断します。

2 を押す



64Kデータ通信を切断して音声電話につながります。

着信を拒否する場合

機能メニューから「着信拒否」を選ぶ

指定先の電話番号に転送する場合

機能メニューから「転送でんわ」を選ぶ


留守番電話センターにつなげる場合

機能メニューから「留守番電話」を選ぶ


お知らせ

64Kデータ通信を切断して音声電話に出る場合は、通信中のダイヤルアップ接続を切断してください。


通信中にほかの通信を使うとき

現在の通信を中断しないで、別の回線を使って同時に通信を行うことができます。マルチアクセス中に画面を切り替えるには、 を1秒以上押すか、タスクメニューから表示したい機能を選びます。 P.268

音声通話中のiモード接続

音声通話中に  を押して、メインメニューのiモードメニューからiモードに接続できます。『アプリケーション編』のP.42

音声通話中のiモードメール送信

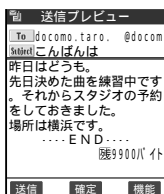
音声通話中に  を押して、メインメニューのメールメニューからiモードメールを作成して送信できます。

1 音声通話中に を押してメールメニューを選ぶ



メニューの操作のしかた P.44

2 iモードメールを作成して送信する



iモードメールの作成 / 送信のしかた 『アプリケーション編』の P.152

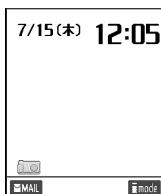
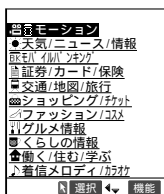
3 を1秒以上押す

音声通話中画面に戻ります。

iモード中の音声電話発信

iモードの接続中やメールの送受信中に、iモードを終了しないで音声電話をかけられます。

1 iモード中に を1秒以上押す



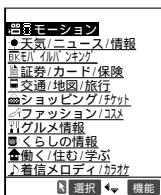
待受画面が表示されます。

2 音声電話をかける




音声電話のかけかた P.70

3 通話が終了したら を押す



通話が終了し、iモード画面に戻ります。

音声通話中のままiモード画面に戻る場合

 を1秒以上押す

おしらせ

iモード中にテレビ電話をかけた場合は、「iモード通信終了」というメッセージが表示され、その後テレビ電話の発信を行います。テレビ電話を終了すると、iモード画面に戻ります。

マルチタスクについて

マルチタスクとは、複数の機能を同時に使用できる機能です。メインメニューにある次のグループの中からそれぞれ1つずつの機能を最大3つまで同時に操作できます。

グループ	大項目(タスク)
メールグループ	メール
iモードグループ	iモード、iアプリ
設定グループ	各種設定、サービス
ツールグループ	マルチメディア、電話帳、アクセサリ、ユーザデータ



iモードグループ、設定グループ、ツールグループでは、同じグループにある機能を2つ以上同時に使用することはできません。

音声通話中にほかの機能を同時に使っている間でも、音声通話料は加算されます。

マルチタスクの組み合わせについては、P.353を参照してください。

タスク(機能)の呼び出しかた


2つ目、3つ目のタスクを呼び出す方法は次のとおりです。

1 を1秒以上押す

待受画面が表示されます。

2 起動していないグループのタスクを選ぶ


メインメニューから呼び出す場合

 を押してからタスクを選ぶ P.44


メニュー番号から呼び出す場合

呼び出したいタスクのメニュー番号を入力する P.356


メールメニューを呼び出す場合

 [MAIL] を押す 『アプリケーション編』のP.141

iモードメニューを呼び出す場合

 [mode] を押す 『アプリケーション編』のP.32

タスクの起動状況はアイコンで確認できます。

 : 複数のタスクを起動していることを示します。

 : タスクを1つだけ起動していることを示します。



アイコンなし: タスクは起動していません。

おしらせ

同じグループのタスクを呼び出そうとすると、タスクを切り替えるかどうかのメッセージが表示される場合と、自動的に切り替わる場合(メールメニュー表示中やiモードメニュー表示中など)があります。切り替えるかどうかのメッセージが表示された場合は、「YES」を選ぶと新しく呼び出したタスクに切り替わります。その場合、元のタスクは終了し、編集中的数据がある場合は自動的に保存されます。ただし、タスクによっては編集内容が保存されないものもあります。

3つのタスクを同時に起動しているときに、4つめのタスクを起動しようとする、これ以上起動できないことを通知するメッセージが表示されます。

タスクの切り替えかた

複数のタスクが起動している場合、操作するタスクを切り替えることができます。タスクを切り替えるには、 を押してタスクメニューを表示させ、そこから操作するタスクを選ぶ方法と、 を1秒以上押して1つずつタスクを切り替える方法があります。

タスクメニューでタスクを切り替えます

複数のタスクが起動しているときに、タスクメニューを押すと、タスクメニューが一覧で表示されます。一覧からタスクを選ぶと、選んだタスクが画面に表示されます。

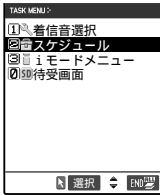
待受画面は常にタスクメニューの最後に表示されます。

音声通話中の場合、タスクメニューに待受画面は表示されません。

1 を押す


タスクメニューが一覧で表示されます。


2 使用したいタスクを選ぶ



選んだタスクが画面に表示されます。

タスクを1つずつ切り替えます

 を1秒以上押すと、起動した順にタスクを切り替えることができます。タスクを切り替えても、動作中のタスクが終了したり、音声電話が切れたりすることはありません。

メインメニュー表示中は、 を1秒以上押しでもタスクは切り替わりません。






おしらせ

マルチタスク中に待受画面を表示した場合は、「iアプリ待受画面（『アプリケーション編』のP.85）を設定していても「画面表示設定」の「待受画面」で設定されている画面が表示されます。

また、起動した後に待受画面の状態に戻す機能を持つソフトであっても、ほかのタスクが動作している間は待受画面の状態に戻すことはできません。ソフトによっては、待受画面の状態に戻す際、継続動作できないことを通知するメッセージが表示されてソフトが終了し、待受画面設定も解除される場合があります。

タスクを終了します

タスクを終了する方法は次のとおりです。

- ・ 終了したいタスクに切り替えて  を押す
- ・ タスクメニュー表示中に終了したいタスクを反転表示して  を押す
- ・ タスクメニュー表示中に  を押してすべてのタスクを終了する

おしらせ

FOMA端末の電源を切ると、すべてのタスクが終了します。